

## 小金井市長期計画審議会（第1回）次第

日時 令和元年6月28日（金）午後6時30分から  
場所 小金井市役所本庁舎第一会議室

### 【次第】

- 1 委員の委嘱及び市長挨拶
- 2 会長及び職務代理者について
- 3 諮問について
- 4 会議の運営等について
- 5 基本構想・基本計画について
- 6 これまでの検討状況について
- 7 今後のスケジュール等について
- 8 配布資料について
- 9 次回以降の開催日について
- 10 その他

### 【配布資料】

別紙配布資料一覧のとおり

小金井市長期計画審議会委員名簿  
(第5次基本構想・前期基本計画)

令和元年6月28日現在

委員区分			氏名	備考
2号委員 (12人以内)	学識経験者その他	公募委員 論文選考	うへはら かず 上原 和	
			なかむら あきひろ 中村 彰宏	
			もり あやか 森 文香	
		公募委員 無作為抽出	たかの ひろみ 高野 博美	
			やなぎさわ すばる 柳沢 昂	
			しばた さちこ 柴田 彩千子	東京学芸大学准教授
		学識経験者	たけのうち かずゆき 竹之内 一幸	武蔵野大学教授
			わたなべ かじろう 渡邊 嘉二郎	法政大学名誉教授
			関係団体の 役員又は職員	いしづか まさとし 石塚 勝敏
		すぎなか きよたか 杉中 清良		公益社団法人小金井市シルバー人材センター
		みなみ けいこ 南 恵子		小金井市商工会
		よしだ あきこ 吉田 晶子		小金井青年会議所
3号委員 (1人以内)	教育委員会 の委員	あさの ともひこ 浅野 智彦		
4号委員 (1人以内)	農業委員会 の委員	まつしま あおい 松嶋 あおい		
5号委員 (2人以内)	市に勤務する職員 及び 関係行政機関職員	関係行政機関	ごとう こうじ 後藤 広治	東京都北多摩南部建設事務所
		市勤務職員	すみの ひでゆき 住野 英進	

計16人

※委員区分毎五十音順

## 起草委員会の所属希望について

<b>委員名</b>	
------------	--

### 【起草委員会のグループ】

① 「環境・都市基盤」と「地域・経済」

- ▷ 環境・都市基盤・・・みどり、ごみ処理、市街地整備、インフラ 等
- ▷ 地域・経済・・・防災、安全・安心、産業、農業 等

② 「子ども・教育」と「福祉・健康」

- ▷ 子ども・教育・・・子ども家庭福祉、子育て・子育ち、学校 等
- ▷ 福祉・健康・・・地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、健康 等

③ 「文化・生涯学習」と「行政経営」

- ▷ 文化・生涯学習・・・芸術文化、国際交流、男女平等参画、生涯学習 等
- ▷ 行政経営・・・市民参加、協働、広報、行財政改革 等

所属を希望するグループの番号（上記①～③）を御記入ください。

<b>第一希望</b>	
-------------	--

<b>第二希望</b>	
-------------	--

⇒ この用紙は、次回の会議までに回収させていただきます。

小金井市長期計画審議会  
配付資料一覧

	No.	資料名	備考
第1回 (6月28日)	1	小金井市長期計画審議会の運営等について(案)	【当日配付】
	2	小金井市市民参加条例、同施行規則(抜粋)	【当日配付】
	3	小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領	【事前配布】
	4	意見・提案シート	【当日配付】
	5	基本構想・基本計画について	【当日配付】
	6	小金井市長期総合計画策定方針	【当日配付】
	7	小金井市長期総合計画討議要綱	【当日配付】
	8	小金井市長期総合計画策定に当たっての市民意見まとめ (令和元年6月28日現在)	【当日配付】
	9	長期計画審議会・起草委員会全体スケジュール(案)	【当日配付】
	10	審議会・起草委員会の役割(案)	【当日配付】
	11	市報(抜粋)	【当日配付】
	冊子	第4次基本構想・後期基本計画	【当日配付】
	冊子	第4次基本構想・後期基本計画(概要版)	【当日配付】
	冊子	小金井市人口ビジョン 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)	【当日配付】
	冊子	こがねいデータブック	【当日配付】
	冊子	平成30年度小金井市市民意向調査報告書	【当日配付】
冊子	わたしの便利帳	【当日配付】	

## 小金井市長期計画審議会の運営等について（案）

## 1 会議録作成の基本方針等

- (1) 小金井市長期計画審議会における会議録の作成は、市民参加条例施行規則第 5 条の規定により、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の作成方法のうち、**（記録方法）**とする。
- (2) 会議録は、各委員において内容を確認後、ホームページに掲載し、情報公開コーナー（第二庁舎 6 階）等に据え置き公開する。
- (3) 発言者名を正確に把握するため、会議での発言は会長が指名後、名前を発言してから行う。（例「〇〇です。〇〇〇については、・・・」）

## 2 会議の公開

小金井市長期計画審議会は、小金井市市民参加条例第 6 条の規定により、原則として公開する。

## 3 会議の傍聴

小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領のとおりとする。

## 4 「意見・提案シート」について

- (1) 「意見・提案シート」を設置**（する・しない）**。
- (2) 設置する場合、**必ず記名を求め、正式資料として公開の対象とする。無記名であった場合は参考資料として委員のみに配布する。**提出された「意見・提案シート」は、**原文のまま**配布する。ただし、公序良俗に反する内容や個人情報に関する内容等の場合、配布しない。一部がそのような場合は墨塗りして配布する。提案内容について、**委員から審議に取り上げたいと申し出があった場合、審議の時間を設ける。**
- (3) 傍聴者からの小金井市長期計画審議会の検討内容等に対する意見は、**「意見・提案シート」**を用いて、会議開催日の 1 週間前の午後 5 時までに提出されたものは（氏名、提出日を記載していただく。）、次回会議で配付するものとする。

## 小金井市市民参加条例（抜粋）

## 第 2 章 市政情報の公開

## （市の会議の公開）

第 6 条 市の会議は、原則として公開する。

2 公開の例外として認められる非公開の会議は、その理由を明らかにしなければならない。

3 非公開の会議の記録のうち、非公開とするものは、特に秘密を要すると認められるものに限る。

## （情報公開手段の拡充）

第 7 条 市は、市民との情報の共有を図るため、次に掲げる事項に配慮し、努力しなければならない。

- （1） 会議録の公開
- （2） 広報紙等の拡充
- （3） 情報公開施設の拡充
- （4） 通信等情報伝達手段の充実

## 小金井市市民参加条例施行規則（抜粋）

## （市の会議）

第 2 条 条例第 6 条第 1 項に規定する市の会議とは、条例第 2 条第 3 号に規定する附属機関等の会議をいう。

## （非公開の会議）

第 3 条 条例第 6 条第 2 項に規定する非公開の会議とは、小金井市情報公開条例（平成 14 年条例第 31 号。以下「情報公開条例」という。）第 5 条各号に規定する内容を議題とする会議等をいう。

## （会議録等の非公開）

第 4 条 条例第 6 条第 3 項に規定する非公開の会議の記録のうち、特に秘密を要すると認められ非公開とするものは、情報公開条例第 5 条各号に規定する内容を議題とする会議等の記録をいう。

## （会議録作成の基本方針）

第 5 条 条例第 7 条第 1 号の会議録は、あらかじめ関係附属機関等に諮った上、次に掲げる会議録の作成方法の中から、会議内容等に応じ適切な方法を選択するものとする。

- （1） 全文記録
- （2） 発言者の発言内容ごとの要点記録
- （3） 会議内容の要点記録

(会議録の記載事項)

第6条 会議録(様式)には、原則として次の事項を記載するものとする。ただし、規則、規程、細則、要綱、要領、規約等で設置根拠が定められている会議等の会議録については、第11号に定める発言内容の記載は、主な発言要旨等の記載とすることができる。

- (1) 会議の名称(附属機関等名)
- (2) 事務局(担当課)
- (3) 開催日時
- (4) 開催場所
- (5) 出席者
- (6) 傍聴の可否
- (7) 傍聴者数
- (8) 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由
- (9) 会議次第
- (10) 会議結果
- (11) 発言内容・発言者名
- (12) 提出資料
- (13) その他必要な事項

2 前項の規定にかかわらず、率直な意見の交換や意思決定の中立性の確保のために必要ときは、発言者名の記載を省略することができる。この場合において、発言者名の記載の省略の可否は、当該附属機関等の出席委員の過半数をもって決するものとする。

(会議録の公開の方法)

第7条 条例第7条第1号の会議録の公開は、情報公開コーナーに据え置く等の方法によるものとする。

## 小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領

## (趣旨)

第1条 この要領は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3号の規定に基づき法律もしくは条例の定めるところにより設置される附属機関又は市長の定める他の審査、諮問、調査等のために設置される機関（以下「附属機関等」という。）の会議の傍聴について、必要な事項を定めるものとする。

## (傍聴席の確保)

第2条 附属機関等の長は、会議を開催しようとするときは、傍聴席が確保できるよう努めなければならない。ただし、会議会場の広さ等により傍聴席の確保が困難な場合は、この限りでない。

## (傍聴人の数)

第3条 附属機関等の会議の傍聴人の数は、会議会場の広さ等を考慮し、附属機関等の長が決めるものとする。

## (傍聴人の手続及び決定)

第4条 会議を傍聴しようとする者は、附属機関等の長に申し込み、小金井市附属機関等の会議傍聴券（様式。以下「傍聴券」という。）の交付を受けなければならない。

2 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができる。

3 傍聴人は、原則として会議開催予定時刻の10分前から先着順で決定する。ただし、会議開催予定時刻の10分前における傍聴希望者が、前条に規定する傍聴人の人数を超えるときは、くじ引きで傍聴人を決するものとする。

## (傍聴券の提示)

第5条 傍聴人は、係員から要求があったときは、傍聴券を提示しなければならない。

## (傍聴券の返還)

第6条 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴を終え退場しようとするときは、傍聴券を返還しなければならない。

## (傍聴席に入ることができない者)



第7条 次の各号の一に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 凶器その他危険なものを持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を持っている者
- (4) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器を持っている者
- (5) 前各号に定めるもののほか、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められるものを持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第8条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次に定める事項を守らなければならない。

- (1) 会議における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑しその他騒ぎたてないこと。
- (3) はち巻き、腕章、たすきの類をする等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により、会議の長の許可を得たときは、この限りでない。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) みだりに席を離れ、又は不体裁な行為をしないこと。
- (7) 前各号に定めるもののほか、会議の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

(傍聴人の退場)

第9条 傍聴人は、秘密会を開く議決があったときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第10条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第11条 傍聴人がこの要領に違反するときは、会議の長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

(委任)

第12条 この要領に定めるもののほか、傍聴の実施に関し必要な事項は、会議の長が別に定める。

小金井市長期計画審議会

意見・提案シート

◆長期計画審議会への検討内容についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、企画政策課にご提出ください。次回開催の1週間前に届いたものは、会議で資料として配付します。

Blank area for writing opinions and proposals, featuring horizontal dashed lines.

提出日 年 月 日  
氏名

(送付先)

小金井市企画財政部企画政策課

〒184-8504 小金井市本町6-6-3

FAX: 042-387-1224

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。

※公序良俗に反する内容や個人情報に関する内容等の場合、配布しません。

連絡先: 042-387-9800

E-mail: s010199@koganei-shi.jp

## 基本構想・基本計画について

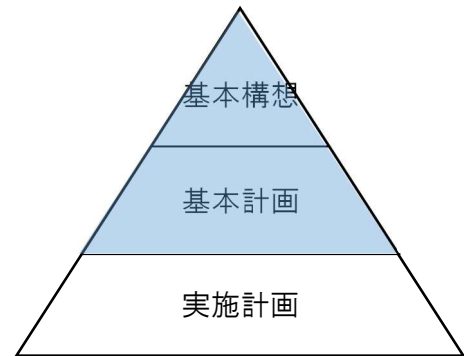
## 1 基本構想・基本計画とは

◎ 基本構想・基本計画・実施計画 ⇒ これらを合わせて「長期総合計画」と称します。長期計画審議会では、このうち基本構想・基本計画について審議します。

**基本構想** 市民のしあわせの増進を目的とし、社会潮流や本市の現状を踏まえつつ、長期的な視点に立って10年後の将来像を実現するための政策・施策の大綱を示す本市の最上位計画（計画期間：10年）

**基本計画** 基本構想に示す将来像を実現するため、施策別に現状と課題を明らかにして、施策を具体化・体系化したもの（計画期間：5年）

※実施計画とは、財政的裏づけと主な事業の計画年度を示すもの



## 2 基本構想・基本計画の主な構成

## ①将来像

10年後に目指すまちの姿

## ②政策

将来像の実現に向けた取組方針。現在の計画では4分野に分けているが、「子ども・教育」を独立させ、「行政経営」の視点を加え、合計6分野とする。

## ③施策

政策を実現するための具体的な取組。概ね担当課の分掌に応じて分類する。

基本構想

基本計画

将来像（10年後のまちの姿）

政策（6分野）

環境 都市基盤	地域 経済	子ども 教育	文化 生涯学習	福祉 健康	行政 経営
------------	----------	-----------	------------	----------	----------

施策

目指す姿／現状／課題／  
施策の方向性／指標などを記載

※ この資料では、第5次小金井市基本構想は「基本構想」と、前期基本計画は「基本計画」と省略しています。

## 小金井市長期総合計画策定方針（第 5 次）

## 1 策定の背景

現在、本市で定めている第 4 次小金井市基本構想（以下「第 4 次基本構想」という。）は平成 23 年 2 月 15 日議会において議決され、併せて平成 23 年 3 月に市の将来像実現のために前期基本計画、平成 28 年 3 月に後期基本計画を策定し、市政運営の指針に据え、総合的、計画的に市政を運営してきたところであるが、第 4 次基本構想は平成 32 年度末をもって計画期間が終了することとなる。

この間、平成 23 年の地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。）改正により、地方分権の推進を目的とする義務付け見直しの観点から法第 2 条第 4 項が削除され、市町村に対する基本構想の法的な策定義務はなくなった。しかしながら、本市にて主体的に活動する市民、団体及び事業者、そして本市を含む「私たち」が市民のしあわせの増進を実現する取組の指針とするという基本構想の意義は何ら変わらないところである。また高齢化と少子化が同時に進行する少子高齢化が到来し、社会経済情勢等が激変する社会環境の中で、将来にわたって本市が魅力あるまちであり続け、選ばれるまちを目指していくためには、より一層戦略的にまちづくりを進めていく必要がある。

以上を踏まえ、市行財政の総合的な推進を図る中長期的計画・指針として、次期基本構想・基本計画・実施計画の策定を行う。

## 2 策定の必要性・位置付け

- (1) 多様化高度化する市民ニーズや重要課題に計画的に応えていく。
- (2) 市民のしあわせの増進のため、複雑かつ多岐にわたる施策を総合的に効果的効率的に推進する最上位計画とする。
- (3) 長期的視点を踏まえ、私たちの住む本市の将来像を共有し、まちへの愛着と誇りを高め、住み続けたいと思われるまちを目指す戦略を明確にする必要がある。

## 3 策定方針

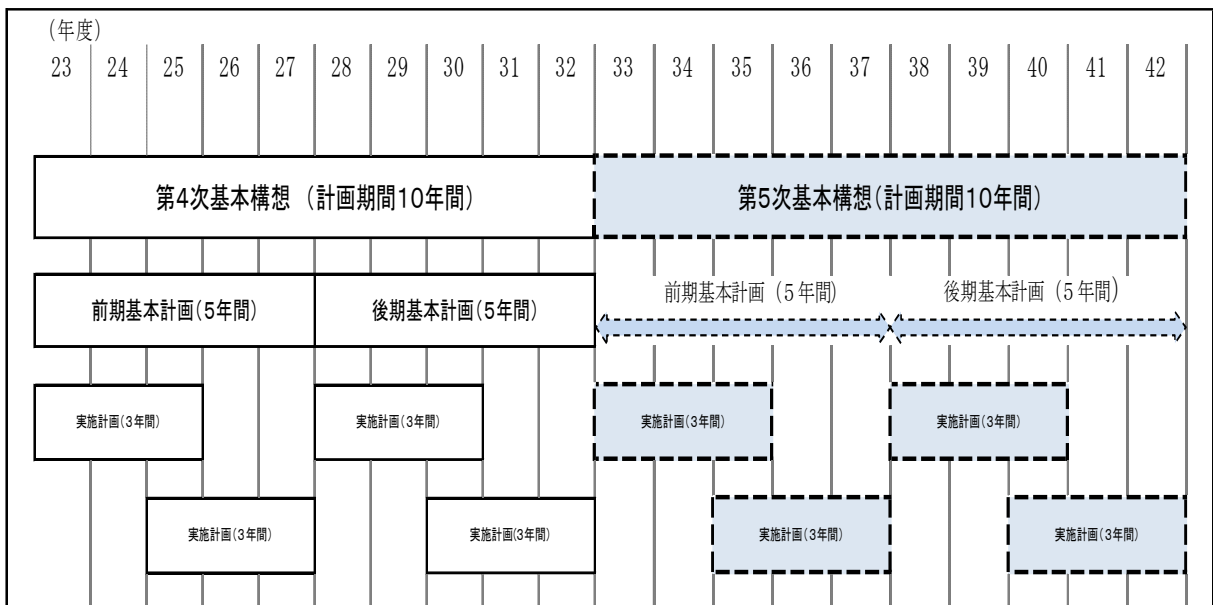
小金井市長期総合計画（以下「長期総合計画」という。）の策定に当たっては、第 4 次基本構想を継承しつつ長期的視点を踏まえ、小金井市まち・ひと・しごと創生

総合戦略との統合、次世代に責任を果たす小金井市公共施設等総合管理計画を踏まえ、選ばれるまちを目指していかなければならない。そして、持続可能な行財政運営を基本に市民ニーズと時代の要請に対応した新たな将来像を描き、その実現のための目標を可能な限り数値等により明確に設定し、横断的かつ長期的な視点も踏まえ、市民と職員に理解される戦略的な長期総合計画を策定する。

#### 4 計画の体系

##### (1) 計画の体系

長期総合計画は、第5次小金井市基本構想、基本計画及び実施計画で構成する。計画期間については、これまでは昭和41年に自治省の研究会が示した総合計画の基準モデル等により、基本構想10年、基本計画5年、実施計画3年の3層としてきた。一方で、時代の要請や民意をより適切に反映するため、より柔軟に計画期間を定める動きもあるところである。したがって、次に示す従来の3層及び計画期間を基本とするが、改めて庁内でも議論の上、決定していくこととする。



##### (2) 基本構想

基本構想は、策定の意義と役割、基礎指標、基本姿勢、将来像及び施策の大綱を基本として構成するものとする。

##### (3) 基本計画

基本計画は、前期基本計画及び後期基本計画で構成し、基本構想を実現するための施策の大綱を具体的、体系的に明らかにすることにより、行政運営の基本的な計画とする。

#### (4) 実施計画

実施計画は、基本計画で盛り込まれた施策を具体的な事業内容と年度で明らかにしたものであり、毎年度の予算編成の指針とする。

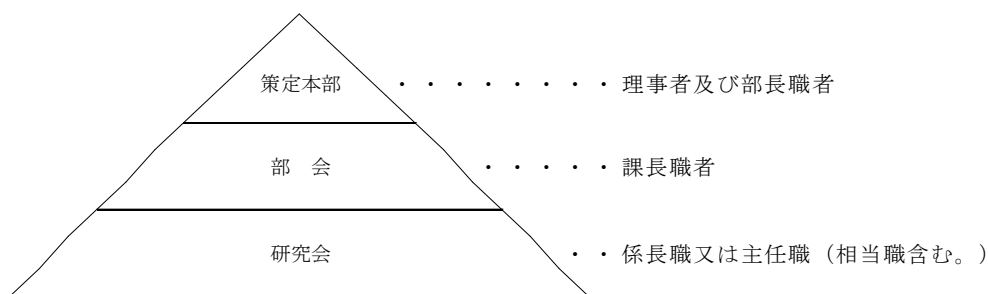
### 5 策定方法

#### (1) 庁内体制

ア 小金井市長期総合計画策定本部設置要綱（平成11年7月27日制定）に基づき、長期総合計画策定のための庁内の決定機関として長期総合計画策定本部（以下「策定本部」という。）を設置し、長期総合計画の策定に係る方向性や論点等を示した討議要綱の作成、各行政分野における計画の総合調整及び長期総合計画の策定を行う。

イ 策定本部の円滑かつ効率的な運営を図るために長期総合計画策定専門部会（以下「部会」という。）を設置し、その下に長期総合計画に関する調査・研究のための長期総合計画策定研究会（以下「研究会」という。）を置く。研究会は討議要綱の具体化や関連する施策・事業を整理し、部会が経過や実施上の課題等を更に検証し素案をまとめ、策定本部に報告するものとする。

なお、研究会の研究員は、原則として係長職又は主任職（相当職含む。）の中から、各部において部長が推薦する職員とする。



#### (2) 市民参加及び広報

長期総合計画の策定に当たっては、広範な市民等の意見を反映させるため、次のような市民参加の手法により、策定過程における市民の参加を促進するものとする。

ア 小金井市長期計画審議会の設置（基本構想（素案）及び前期基本計画（素案）の諮問及び答申）

平成31年度から小金井市長期計画審議会（以下「長期計画審議会」という。）

を設置する。

#### イ 市民意向調査の実施

市民が市政に対して何を望み、何を期待しているか等を調査し、市の将来を展望した施策を具体化するための資料を得るため、「長期総合計画策定のための市民意向調査」を実施する。

#### ウ パブリック・コメントの実施

第5次小金井市基本構想・前期基本計画（案）のパブリック・コメントを実施する。

#### エ 広報

市報及びホームページの活用等のあらゆる機会を捉え、現在の計画と長期総合計画の策定過程をより多くの市民に知っていただき、参加の機運醸成と本市に対する誇りと愛着につながる情報の発信に努めるものとする。

#### オ その他

市民の意向を広く踏まえるため、無作為抽出による市民参加の手法、ワークショップ、包括連携協定を結んでいる各大学等の活用による若者や、子どもの参加、既存組織である「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会」の活用等を検討の上、実施する。

### 6 議会上程

- (1) 基本構想は、長期計画審議会の答申を尊重し、策定本部において、議会への上程案を決定する。
- (2) 基本計画は、長期計画審議会の意見も踏まえ、策定本部において案を作成して議会へ参考送付し、議決された基本構想に従って決定し、公表する。

なお、基本構想の参考資料としての参考送付については、平成15年5月8日付け小議発第17号「議会改革に関する諸問題の調査に基づく要請について（依頼）」の要請事項の1として挙げられているものである。

### 7 その他

この方針に定めるもののほか、長期総合計画の策定に関して必要な事項は、別に定めるものとする。

（平成30年5月8日小金井市長期総合計画策定本部（第2回）で策定）

## 小金井市長期総合計画討議要綱

### 1 小金井市長期総合計画討議要綱の位置付け

この討議要綱は、小金井市長期総合計画策定方針（第 5 次）（平成 30 年 5 月 8 日決定）に基づき、計画行政における長期総合計画の役割を整理し、第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画（以下「次期長期総合計画」と総称する。）を検討する際のガイドラインを示すものとする。

### 2 次期長期総合計画の策定について

#### (1) 策定する背景

本市における市政運営の指針となる第 4 次小金井市基本構想は、平成 32 年度末をもって計画期間が終了する。この間、平成 23 年の地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）の改正により、市町村に対する基本構想の法的な策定義務はなくなった。しかしながら、小金井市議会基本条例（平成 28 年条例第 23 号）においては、議決事項として基本構想の策定等が規定されており、本市で活動の主体となる市民、団体及び事業者（以下単に「市民」という。）、そして行政である市を含む「私たち」にとって、市民のしあわせの増進を実現する取組の指針となる基本構想の意義は何ら変わらないところである。また、高齢化と少子化が進行し、社会経済情勢等が激変する社会環境の中で、将来にわたって本市が魅力あるまちであり続け、選ばれるまちを目指していくためには、より一層戦略的にまちづくりを進めていく必要がある。

以上を踏まえ、本市の行財政の総合的な推進を図る、「中長期的計画・指針」として、次期長期総合計画の策定を行う。

#### (2) 策定の必要性・位置付け

##### ア 多様化高度化する市民ニーズや重要課題に計画的に伝えていく。

近年、人々の生き方や価値観はますます多様化しており、情報化や産業・経済構造の変化もあいまって、地域社会も複雑に変化している。これに伴い、市民ニーズや地域社会において解決を図るべき課題は、一層多様かつ高度に変化していくと予想される。そのような状況に対応していくためには、市民ニーズ



や課題を的確に捉え、計画的に取り組むべきことを位置付ける次期長期総合計画を策定する必要がある。また、これらの対応には、今や市だけでなく様々な主体との連携・協働が不可欠である。そのため、次期長期総合計画は、市の行動を方向付けるだけでなく、市民へ広く発信し、共有されるべきものである。

#### **イ 市民のしあわせの増進のため、複雑かつ多岐にわたる施策を総合的かつ効果的効率的に推進する最上位計画とする。**

市民ニーズや地域社会における課題の多様化高度化に伴い、市の政策・施策も多岐にわたってきている。さらに、個々の行政分野だけでは対応することが難しい課題も散見され、複数の分野が連携して対応する必要性も高まっている。そのような複雑かつ多岐にわたる施策を推進していくため、次期長期総合計画を通じた行政のマネジメントが必要となる。

またこのような状況下で、市はこれまでに個別の行政計画を多数策定してきた。これらを整理・統括する役割も、次期長期総合計画に期待されるところである。

#### **ウ 長期的視点を踏まえ、本市の将来像を共有し、まちへの愛着と誇りを高め、住み続けたいと思われるまちを目指す戦略を明確にする。**

本市の魅力は、これまで都心へのアクセスもその一つとされてきた。しかし、居住地選択において都心回帰と呼ばれる現象が起こっている現在、「ベッドタウンに住み、都心で働く」というライフスタイルを選ぶ人が減っていく可能性がある。そのような状況にあっても選ばれるまちであり続けるため、地域全体で魅力を創り続けることが必要であり、次期長期総合計画はその戦略を示す役割を担うところである。そのため、先々予想される社会動向を踏まえた上で、現実的な認識を持って検討を進め、目指すべき10年後の将来像を次期長期総合計画で定め、広く共有していくことが必要である。

### **(3) 共通認識**

#### **ア 主な社会潮流と論点**

次期長期総合計画の策定において、論点の一つとなり得る重要な社会潮流については、共通認識としておく必要があるため、以下のとおり主な社会潮流と

論点を示す。

(ア) 人口減少と少子高齢化

日本の人口は、平成16年12月を境に減少局面に入っており、全国的には少子高齢化の傾向が進んでいる。これにより、経済活動の縮小や社会保障ニーズの高まり、空き家の増加、インフラの維持コストを始めとする財政負担の増大などが課題となってきたおり、長期的視点での対応を検討していかなければならない。

(イ) 多様性の尊重

国籍、性、年齢、障がい、文化、ライフスタイル、価値観など様々な多様性を尊重し合いながら、誰もが社会へ参画でき、それぞれが望む活躍ができるまちの実現が求められている。

(ウ) 情報化社会の進展

インターネット経由で家電・製造機器等を制御するI o Tの普及のほか、人工知能(AI)やロボットによる業務自動化(RPA)などが急速に進化し、様々な形で新技術が我々の生活に変革をもたらしてきている。また政府は、デジタル革新やイノベーションを活用して実現するSociety 5.0という新たな社会を提唱している。こうした情報化社会の動向に敏感に対応し、効率的な行政運営を進める必要がある。

(エ) 持続可能な社会の構築

「持続可能性」の概念は、従前から環境分野で地球温暖化対策などと共に用いられてきた。近年では環境分野を超えて広がっており、国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)を意識した取組が注目されているほか、持続可能な行政運営を目指した公共施設マネジメントが取り込まれるなど、多方面での広がりを見せている。人口減少社会への対策も含め、今後このキーワードを意識した取組が必須となる。

(オ) 安全・安心への意識の高まり

近年の大規模災害の多発や近い将来の大地震発生の予測を受け、人々の防災意識が高まっている。被害の最小化とリスクへの対応について国土強靱化の考えの下、地域においてもハード・ソフト両面での対策が求められている。特に自助・共助・公助という考え方の下、地域での支え合いや民間等のネットワーク形成が必要とされている。

## (カ) 地方自治の進展

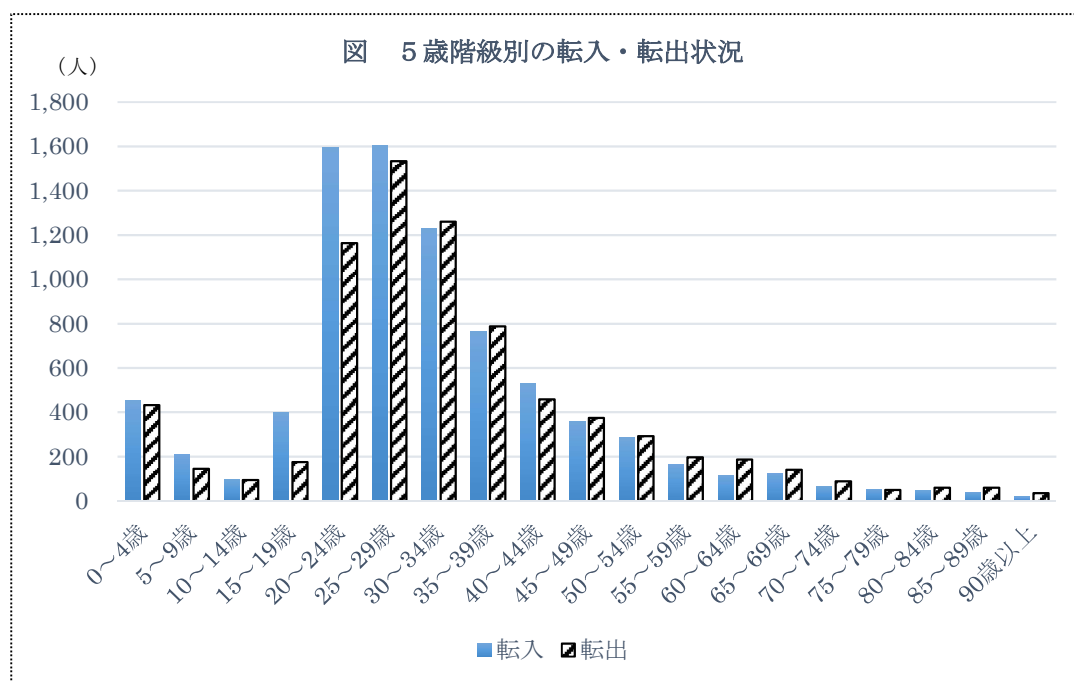
政府が地方分権改革や地方創生を政策として掲げる中、地方公共団体には住民ニーズへの細やかな対応と地域社会の実情に合わせたまちづくりがこれまで以上に期待されている。そのため、今後より一層、公共の担い手の拡大とその効果的な連携・協働が求められるとともに、これを推進するための行政情報の積極的な発信、オープンデータ化の推進など、透明性の高い行政運営が更に重要となってくる。

## イ 本市の現状

### (ア) 人口動態

本市の人口は、合計特殊出生率が平成28年から減少しているにもかかわらず、平成29年10月には12万人を上回り、それ以降も微増傾向にある。

平成29年の転入・転出の状況を見ると、20歳～39歳の移動が多く、特に20歳～24歳では大きく転入超過となっている。25歳～29歳は転出が最も多いものの転入数と均衡しており、30歳代では転出超過となっている。



出典：東京都住民基本台帳人口移動報告（平成29年）

### (イ) 財政状況

地方公共団体の財政健全化に係る各指標によると、本市の平成29年度の財政状況は健全の範囲と言える。また、家計の貯金に当たる財政調整基金

については、増え続ける社会保障関連経費等に使用するため、平成22年度以降は大きく取り崩しているものの、平成27年度以降積極的に積立てを行い、平成29年度末残高は約26億円となった。

しかし、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率で見ると、平成29年度は94.3%で多摩26市中20位と悪化しており、依然として厳しい財政状況であることから、今後一層の取組が必要である。

#### (ウ) 公共施設マネジメント

公共施設の老朽化とこれに伴う財政負担、そして人口減少社会の到来を見据え、本市でも公共施設の総合的かつ長期的視点による費用の縮減と平準化及びサービスの最適化に向けた取組は欠かせないものとなっている。

現在検討中の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設では、福祉と行政のつながりの強化や市民サービス・利便性の向上と併せ、効率的な施設管理、合理的な建設コストの低減など、公共施設マネジメントの実践に取り組んでいく。



図 新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設予定地

## (4) 策定の視点

次期長期総合計画を策定するに当たり、次の4つを視点として掲げ、これを意識した計画策定を行う。

### ア 分かりやすく、共感される計画

次期長期総合計画は多くの人との共有が肝要であるため、市民や市職員にとって分かりやすい計画作りを行う。そのため、従来の長期総合計画の記載項目や施策の体系などを見直し、量的・質的・視覚的にも読みやすい計画とする。

また、多くの市民参加の機会を設けることで多様な市民の意見を取り入れ、市民から共感される計画作りを目指す。

## イ 現行計画の総括を踏まえたより良い計画

次期長期総合計画は、10年後の将来像を目指すに当たり、第4次小金井市基本構想に基づいて行われた取組を踏まえ、改善を図っていく必要がある。そのため、現行計画について、指標に基づく評価に加え、各施策における成果と課題について把握し、これらの総括を適確に行う。

## ウ 個別の行政計画との関係性を整理した計画

前述のとおり、これまで策定された個別の行政計画について、これらを整理・統括する役割をもった計画作りを行う。また、選ばれ続けるまちづくりのための施策展開を示した、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）については、同戦略の内容を包含した次期長期総合計画作りに努める。

## エ 行政評価により成果や課題が見える計画

市民に信頼される質の高い市政を実現するため、改善改革に向けてPDCAサイクルが機能する、より有効な行政評価の仕組みの構築を図る。指標の立て方については、従来の指標、個別の行政計画で設定された指標、市民の満足度や行動変容などの市民側の指標等、それぞれの指標設定の長所短所を認識しながら、適切な指標の設定について検討する。

### (5) 計画の期間と役割

平成 西暦	33 2021	34 2022	35 2023	36 2024	37 2025	38 2026	39 2027	40 2028	41 2029	42 2030	年度
	第5次小金井市基本構想（10年間）										…ア
	前期基本計画（5年間）					後期基本計画（5年間）					…イ

## ア 基本構想

市民のしあわせの増進を目的とし、社会潮流や本市の現状を踏まえつつ、長期的な視点に立って10年後の将来像を実現するための政策・施策の大綱を示す本市の最上位計画である。

## イ 基本計画

基本構想に示す将来像を実現するため、施策別に現状と課題を明らかにして、施策を具体化・体系化したものである。

## 3 策定プロセス

### (1) 策定体制

#### ア 庁内体制

小金井市長期総合計画策定本部設置要綱（平成11年7月27日制定）等に基づき、次の会議体で検討する。

	名称	構成	概要
1	小金井市長期総合計画策定本部（以下「本部」という。）	理事者 部長職	計画の総合調整及び次期長期総合計画の策定に関する検討を行う。
2	小金井市長期総合計画策定専門部会（以下「部会」という。）	課長職	本部の下に設置され、実施上の課題等を検証し、素案について検討する。
3	小金井市長期総合計画策定研究会	係長職以下	部会の下に設置され、本部及び部会の検討に資する協議を行う。

## イ 市民参加

次期長期総合計画の策定において、次の市民参加を実施する（1～4は平成30年度に実施済み）。ここで出された意見等は、小金井市長期計画審議会の諮問内容の検討や審議の際に適宜参照し、活用していく。

	名称	概要
1	市民意向調査	ニーズ等を把握するため、市民2千人を対象にアンケートを実施した。
2	学生アンケート	本市のイメージを把握するため、連携大学の学生1,400人を対象にアンケートを実施した。
3	芸術文化振興計画推進事業	小学生を対象に、授業の中でそれぞれの未来を想像してもらい、作品を創作した。
4	こが☆カフェ	本市のイメージや求めるまちの姿を把握するため、市民と市職員が参加するワールドカフェを開催した。
5	子ども懇談会	将来像検討のため、中学生の考える本市の将来像を発表してもらおう。あわせて、本市の良いところに関する意見を聴取する。

6	小金井市長期計画審議会	有識者及び市民で構成される本市の附属機関であり、次期長期総合計画策定に係る調査及び審議を行う。
7	高校生ワークショップ	高校生を対象に、本市に対する意見をワークショップ形式で聴取する。
8	1839会議	ライフステージの大きな変化がある年代の市民（18～39歳）を対象に、本市を選び続けるために必要な施策について意見を聴取する。
9	事業者ヒアリング	市内事業者を対象としたヒアリングを実施し、市内で活動し続ける上での課題や必要な支援について意見を聴取する。
10	市民懇談会（基本構想）	基本構想案について、市民に内容を説明するとともに、広く意見を聴取する。
11	パブリックコメント	次期長期総合計画案について、広く市民からメールや郵送等で意見を伺う。
12	出前ヒアリング	次期長期総合計画案に関する意見を、市施設等に訪れる市民から聴取する。
13	市民懇談会（基本構想・基本計画）	次期長期総合計画案について、市民に内容を説明するとともに、広く意見を聴取する。

※7～13の名称は、仮称とする。

## (2) 策定スケジュール

今後の次期長期総合計画の主な策定スケジュールは、以下のとおりとする。

市民参加等	年度・月	平成31(2019)												平成32(2020)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5	子ども懇談会																								
6	小金井市長期計画審議会																								
7	高校生ワークショップ																								
8	1839会議																								
9	事業者ヒアリング																								
10	市民懇談会（基本構想）																								
11	パブリックコメント																								
12	出前ヒアリング																								
13	市民懇談会（基本構想・基本計画）																								
	市議会																								

（平成31年3月27日決定）

（令和元年6月19日改訂）

**小金井市長期総合計画策定に当たっての  
市民意見まとめ  
(令和元年6月28日現在)**



## 目次

---

<b>第1章 市民参加機会について</b> .....	1
1. 趣旨.....	1
2. 概要.....	1
<b>第2章 市民意見に関するまとめ</b> .....	3
1. 第4次基本構想における将来像.....	3
2. 環境・都市基盤.....	3
3. 地域・経済.....	4
4. 子ども・教育.....	5
5. 文化・生涯学習.....	5
6. 福祉・健康.....	5
7. 行政経営.....	6
<b>第3章 各市民参加機会の概要・結果(要点)</b> .....	7
1. 市民意向調査.....	7
2. 学生アンケート.....	14
3. 芸術文化振興計画推進事業(学校連携事業).....	18
4. こが☆カフェ.....	20
5. 子ども懇談会.....	22
<b>(参考) 各市民参加機会の結果</b> .....	24

# 第1章 市民参加機会について

## 1. 趣旨

- 第5次基本構想・基本計画の策定に当たり、平成30年度から令和元年度にかけて市民のみなさまからご意見を聴く機会(市民参加機会)を設けている。
- 第5次基本構想・基本計画について検討し、答申をいただく小金井市長期計画審議会において、市民を代表して検討いただく上で、幅広い市民の声を参照していただきたく、市民参加機会を設け、声を聴く取組である。
- そのため、広く市民を対象としたアンケートのほか、子どもや大学生、また事業者等、長期計画審議会の委員ではない層を中心としてワークショップなどを行っている。

## 2. 概要

- 市民参加機会は以下のとおりである。下記1～5については既に実施しており、6～12は今後実施予定である。

No.	名称	概要
1	市民意向調査 ※アンケート方式	市民2,000人を対象として、市民のニーズや課題を把握することを目的として実施した。基本計画の施策の満足度・重要度についても把握している。
2	学生アンケート	小金井市が協定を結ぶ大学及び専門学校の学生1,400人を対象として、本市のイメージ等を把握するために実施した。
3	芸術文化振興計画推進事業 (学校連携事業)	市内小学校(3校)において、授業の中で小金井市の未来を想像した作品を創作した。その活動を通じて小学生の考える小金井市の未来を把握することを目的とした。
4	こが☆カフェ ※ワールドカフェ方式 <sup>1</sup>	市民と市職員が、小金井市のイメージや求めるまちの姿、市民ができることを考えるために実施した。
5	子ども懇談会	市内中学校(全5校)の生徒が、基本構想において示す10年後の小金井市の将来像について検討するために実施した。あわせて、市の良いところについて意見を聴いた。
6	高校生ワークショップ (アオハルカイギ)	高校生世代(市内高等学校の生徒を含む)を対象として、大人になっても小金井市に住み、また訪れる人を増やすため、小金井市の魅力を検討するために実施する。
7	1839会議	ライフステージの大きな変化がある18歳～39歳の市民を対象として、小金井市に住み続けるために必要なことについて、意見を聴くために実施する。
8	ヒアリング	市内で活動するNPO法人、KO-TOで起業・創業している事業者など、市民活動や経済活動を行う団体を対象として、各々の観点での小金井市の課題や今後の展望、市に求める支援等を把握するために、アンケートやヒアリングにより意見を聴取する。

<sup>1</sup> ワールドカフェ形式とは、カフェのようなリラックスした雰囲気の下、グループでの対話を通じて話し合う会議の手法である。グループのメンバーの組み合わせを適宜変えながら進行することが特徴である。

No.	名称	概要
9	市民懇談会(基本構想)	基本構想案について、市民に内容を説明するとともに、広く意見を聴取する。
10	パブリックコメント	次期長期総合計画案について、広く市民からメールや郵送等で意見を伺う。
11	出前ヒアリング	次期長期総合計画案に関する意見を、市施設等に訪れる市民から聴取する。
12	市民懇談会(基本構想・基本計画)	次期長期総合計画案について、市民に内容を説明するとともに、広く意見を聴取する。

## 第2章 市民意見に関するまとめ

以下、第4次基本構想における将来像の観点、そして第5次基本構想・前期基本計画における政策分野(案)に基づき、各市民参加機会を通じて得られた意見をまとめる。

### 1. 第4次基本構想における将来像

#### 将来像の実現度合

- 第4次基本構想では、「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」という将来像を掲げ、その実現を測る指標を「住みやすさ」と「住み続けたいと思う市民の割合」と位置づけていた。
- 市民意向調査では、住みやすいと思う人は84.5%であり、平成26年度調査と比較すると約10ポイント増加している<sup>2</sup>。住み続けたいと思う人については80.0%であり、この数値も平成26年度調査と比較すると4ポイント増加している<sup>3</sup>。

#### 住みやすさの分析

- 住みやすさについては、いずれの年代においても8割前後と高い。地域別にみると、武蔵小金井地域が88.8%と最も高く、東小金井地域(85.4%)、野川地域(77.7%)という順となる。

#### 定住意向の分析

- 定住意向を持つ人の割合は、若い世代ほど少ない。29歳以下では69.0%、30歳代では70.4%である。そのうち、「住み続けたい」と回答した割合はそれぞれ18.3%、20.9%となり、明確に定住意向を持つ若い世代は少ないことが分かる。

### 2. 環境・都市基盤

#### みどり・水等の自然環境

- 市民意向調査にて、現在の小金井市の良いところ<sup>4</sup>としては「みどりや水辺などの自然」が58.7%で最も多く選択されている。地域別にみると野川地域で特に多く、76.3%である。
- また、アピールできるコンテンツとしても認識されているほか、30年後の小金井市の姿についても「自然にあふれたまち」として整理される意見が突出して多く寄せられている。
- みどりと水に関する施策については満足度も高く、また重視されてもいる施策である。
- 芸術文化振興計画推進事業や子ども懇談会のように、子どもがまちの魅力や未来に残したいことを考える際にも、みどりは多く言及されており、世代にかかわらず自然環境に満足しており、魅力として認識されていることが伺える。
- また、学生アンケートでは、市内在住者のみならず、在学者も含めて自然環境(住環境を含む)を魅力だと感じていることが分かる。

#### ごみ処理

- 市民意向調査では、ごみとまちの美化に関する施策については、最も重視されており、特に優先的

<sup>2</sup> ここでいう住みやすいと思う人は、選択肢のうち「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を選択した人である。

<sup>3</sup> 定住意向を持っている人は、選択肢のうち「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を選択した人である。

<sup>4</sup> 小金井市の良いところは、12個の選択肢のうちから3つ選んでもらった。

に進めるべき施策としても最も多く選ばれている。それにもかかわらず、満足度は低い。

## 住環境

- 市民意向調査では、現在の小金井市の良いところとしては「静かで落ち着いた住環境」が54.1%で、「みどりや水辺などの自然」について多く選択されている。ただ、アピールできるコンテンツとしてはそれほど選ばれてはいない。
- 地域別にみると、東小金井地域で「静かで落ち着いた住環境」を選んだ人が67.5%で、他の2地区に比べて特に多い。
- 一方、住みやすさに対する評価や定住意向の違いがあっても、小金井市のよいところとして「静かで落ち着いた住環境」を選択する人の割合に大きな違いが見られないことも特徴である。
- 住宅・住環境に関する施策に対しても満足度は高いが、一方こが☆カフェでは空き家が増えていることについて懸念する意見も聞かれた。

## 3. 地域・経済

---

### 安全・安心

- 市民意向調査にて、現在の小金井市の良いところとして「安全・安心な環境」を選択した人が24.2%である。地区別にみると野川が19.1%で、他の2地区に比べてやや低い。
- 地域安全に関する施策に対する満足度は、みどりと水や住宅・住環境について高いが、重要度も高いことが特徴である。
- 学生アンケートにて、市内在住者に対して居住地選択の理由と住んで良かったと思うところを尋ねたところ、居住地選択の理由としては安全・安心な環境は少なかったものの、住んでみると安全・安心を実感する人が多くなることから分かる。

### 産業

- 市民意向調査では、現在の小金井市の良いところとして「日常生活に便利で暮らしやすい」を選択した人が31.2%であるが、小金井市のアピールできるコンテンツを自由に記入する回答では商業に関する記述はほとんど見られない<sup>5</sup>。
- 商業に関する施策について不満に感じている人が37.0%で、満足している人(17.2%)よりも多い。<sup>6</sup>
- 学生アンケートにおいては、小金井市の悪いところとして、商業施設に関する意見が見られた。
- こが☆カフェでも商店が増えることを期待する声が聞かれた一方で、より暮らしやすいまちにするための取組として地元の商店街で買い物をすることを挙げた参加者もいた。
- 農業については、市民意向調査にて尋ねたアピールできるコンテンツとして「みどりや水辺などの自然」に関する意見の中に農地や農家に触れている意見が少なからず見られた。

---

<sup>5</sup> 市民意向調査にて、現在の小金井市のよいところを尋ねる際、「日常生活が便利で暮らしやすい」の他に、「便利な通勤通学や都心へのアクセス」という選択肢があることから、暮らしやすさの中に交通利便性は含まれないと考える。

<sup>6</sup> ここでいう満足している人は、選択肢のうち「満足」か「やや満足」を選択した人である。満足していない人は「やや不満」と「不満」を選択した人である。選択肢には他に「どちらともいえない」が含まれている。以下、同様。

## 4. 子ども・教育

---

### 子育て支援

- 市民意向調査では、小金井市の良いところとして「恵まれている子育て環境」を選択した人は1割未満と少ない。
- 子ども家庭福祉に関する施策については、全体的に満足度は低い。中学生以下の子どもがいる人においては、満足している人(32.6%)と不満に思っている人(33.4%)で、不満に思っている人の方がやや多い。
- 子ども家庭福祉については、特に優先的に進めるべき施策としては、3番目に多く選ばれている。
- 幼児教育に関する施策についてみると、未就学児が子どものいる人においては不満に思っている人が37.4%であり、満足している人(27.7%)よりも多い。
- 市民意向調査にて30年後の小金井市の姿では、「自然にあふれたまち」が特に多くなっている中、「多世代が暮らせるまち」や「子育て環境の充実したまち」がそれについて選ばれており、それぞれ約50件である。
- 子育て支援に関しては児童福祉的な観点以外にも、こが☆カフェにおいて、女性が子育てをしながら働きやすい場所が市内にあるとよいという意見が聞かれた。

### 学校教育

- 市民意向調査では、小金井市の良いところとして「恵まれている教育環境」を選択した人は1割未満と少ない。
- 学校教育に関する施策としては、小学生ないしは中学生の子どもを持つ人においては、満足している人が45.8%で、不満に思っている人(28.7%)よりも多い。

## 5. 文化・生涯学習

---

- 市民意向調査では、小金井市の良いところとして「スポーツや文化活動、生涯学習活動が盛ん」を選択した人は1割未満と少ない。小金井市のアピールできるコンテンツとしては、「スポーツや文化活動、生涯学習活動が盛ん」が、公園・自然につぐ3番目に多い(ただし1割程度)。
- 文化・芸術、生涯学習、スポーツ・レクリエーションに関する施策について満足している人はそれぞれ31.6%、20.5%、28.8%である。いずれも不満に思っている人よりも多い。
- 3つの分野の中では文化・芸術に関する施策が最も満足度が高い。重要度についてはいずれも同程度である。

## 6. 福祉・健康

---

### 福祉

- 地域福祉に関する施策について満足している人は18.4%で、不満に思っている人(16.2%)よりもやや多い。
- 高齢者福祉に関する施策について満足している人は19.9%で、不満に思っている人(15.9%)よりもやや多い。70歳代においては満足している人が26.5%、80歳以上で42.0%となる。ただし、不満足に思っている人も年齢とともに増えており、70歳代では28.9%が不満に思っており、満足している人より

もやや多い。

- 高齢者福祉に関する施策については、特に優先的に進めるべき施策として2番目に多く選ばれている。
- 障害者福祉に関する施策について満足している人は14.3%で、不満に思っている人(11.4%)よりも多い。

## 健康

- 市民意向調査では、しあわせを感じることについては「健康」を選択した人が72.3%で最も多い。
- 市民意向調査では、小金井市の良いところとして「充実した医療機関」を選択した人は1割未満と少ない。
- 健康・医療に関する施策について満足している人は35.0%で、不満に思っている人(17.7%)よりも多い。重要度も高く、みどり・水に関する施策について重要だと思われる。

## 7. 行政経営

---

### 参加・協働

- 市民意向調査では、小金井市の良いところとして「NPOや地域サークルなどの市民活動が盛ん」を選択した人は1割未満と少ない。
- ただし、こが☆カフェでは、地域のつながりや市民同士との関わりがあり、大学生のような来街者も地域で活動できるという意見が聞かれている。また、子ども懇談会でも、地域をよくしようとする市民やその姿勢がまちの魅力として挙げられていた。
- 市民意向調査では、回答者の約9割が地域における顔見知りがいる。過去1年間に地域での頼まれ事や日常的な手助けをした人は1割半ばだが、4割強はその意向を持っている。
- 町会・自治会に加入している人は約半数であり、特に50歳未満の人における加入率が3割前後となっている。
- 参加・協働に関する施策について満足している人は21.4%で、不満に思っている人(10.2%)よりも多い。

### 行財政

- 市民意向調査では、行財政に関しては、行政経営、計画的行政、財政・財務もいずれも不満に思っている人の方が満足している人よりも多い。特に計画的行政、財政・財務については不満に思っている人が4割弱である。
- 財政・財務については重要度も高くなっており、特に優先的に進めるべき施策としても財政・財務は4番目である。ついで5番目に計画的行政が選ばれている。

# 第3章 各市民参加機会の概要・結果(要点)

第3章では、各市民参加機会の概要と、そこで得られた結果の要点をまとめる。

## 1. 市民意向調査

### (1)実施概要

#### 調査目的

○この市民意向調査は、第5次小金井市基本構想・基本計画の策定にあたり、市民が小金井市政に対して、どのような要望を持ち、何を重要と考えているのかを把握することを目的としている。

#### 調査実施概要

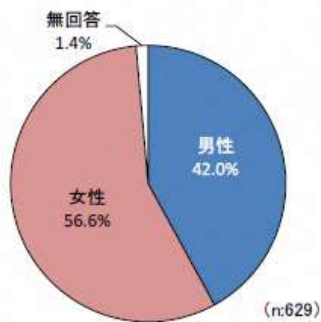
- 調査対象 小金井市内に在住する満18歳以上の男女2,000人(外国人を含む)
- 抽出方法 無作為抽出
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間 平成30年7月19日～8月13日

#### 回収結果

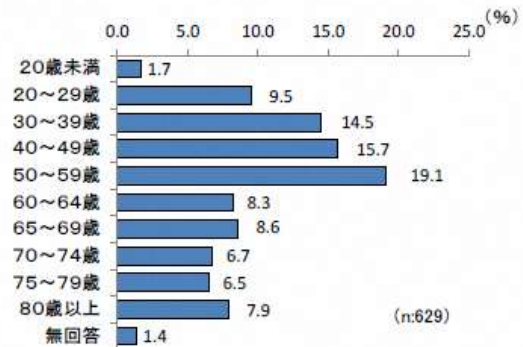
- 有効回答数 629人
- 有効回答率 31.5%

#### 回答者について

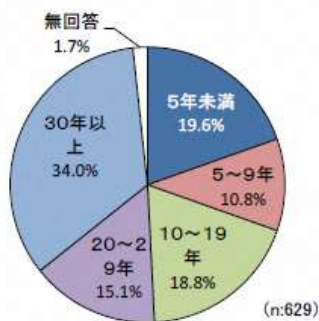
##### ■性別



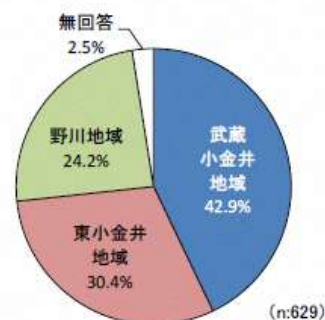
##### ■年齢



##### ■居住年数



##### ■居住地





## (2)調査結果(まとめ)

### まちに対する評価

○小金井市を住みやすいと思う人の割合は8割半ばである。定住意向を持っている人の割合も8割である。

○小金井市のよいところ・自慢したいところは、みどり・水や閑静な住宅地であることが半数を超えているほか、公園や利便性、交通アクセスも3割程度と多い。

### 幸福感

○幸福感について10点満点で評価してもらったところ、8点が23.2%、7点が21.0%と高かった。7点以上の点数をつけた人は64.7%である。

### 施策の満足度・重要度

○施策に対する満足度においても、みどり・水、住宅・住環境、道路・河川に関する施策について満足度が高い。一方、ごみ・まちの美化は満足度が低く、計画的行政、財政・財務についても低い。

○重要だと思われる施策については、ごみ・まちの美化が最も重要度が高く、みどり・水、健康・医療、地域安全なども高い。

○重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策は、ごみ・まちの美化と財政・財務である。

### 地域とのつながり

○地域に家族以外の顔見知りがないという人は約1割である。町会・自治会に加入していない人は約半数であり、50歳代よりも下の世代では6割半ば～7割が加入していない。

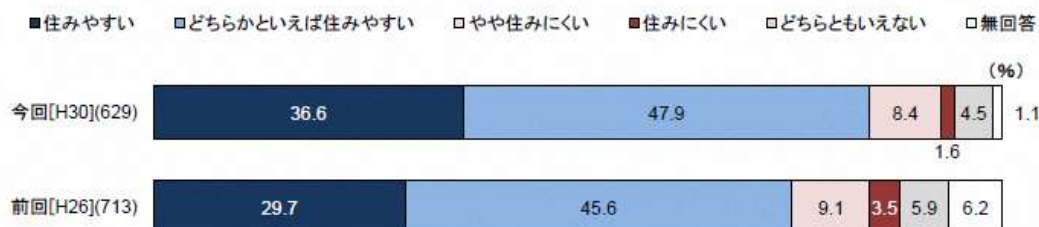
○過去1年間に地域での頼まれ事や日常的な手助けをしたという人は1割半ばだが、そのような行いをしようという意向を持つ人は4割強である。

○その他、過去1年間に何らかの地域活動に参加したことのある人は5割程度である<sup>7</sup>。

## (3)調査結果(抜粋)

### 住みやすさ

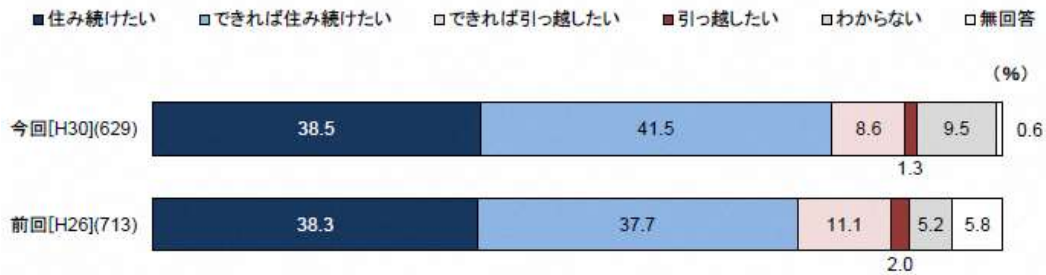
○「住みやすい」(36.6%)と「どちらかといえば住みやすい」(47.9%)を合わせて84.5%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率(75.3%)よりも9.2ポイント高くなっている。



<sup>7</sup> ここでいう地域での活動とは、選択肢のうち「町会・自治会」、「PTA・子ども会活動」、「民生委員、児童委員、消防団活動」、「NPO、ボランティア団体のメンバーとしての活動」、「スポーツや芸術・文化等のサークル活動」、「地域で開かれるイベントへの参加」である。

## 定住意向

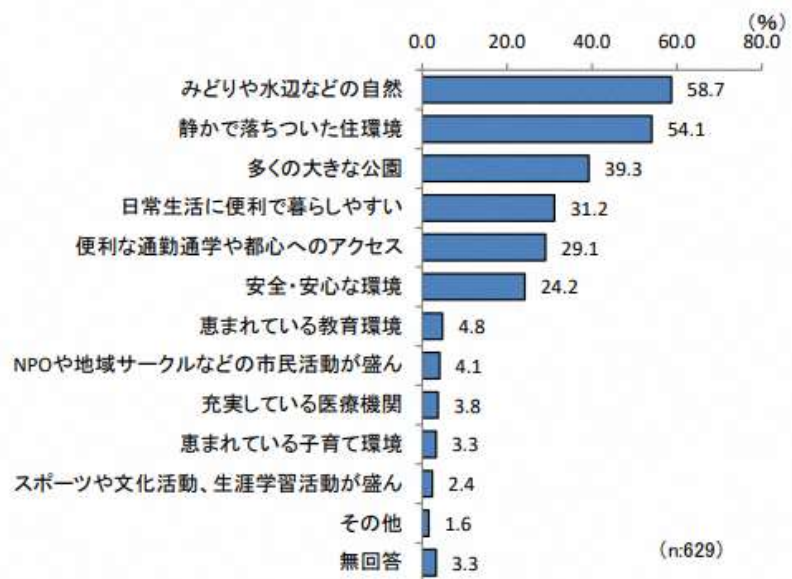
○「住み続けたい」(38.5%)と「できれば住み続けたい」(41.5%)を合わせた80.0%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率(76.0%)よりも4.0ポイント高くなっている。



## 小金井市のよいところ・自慢したいところ

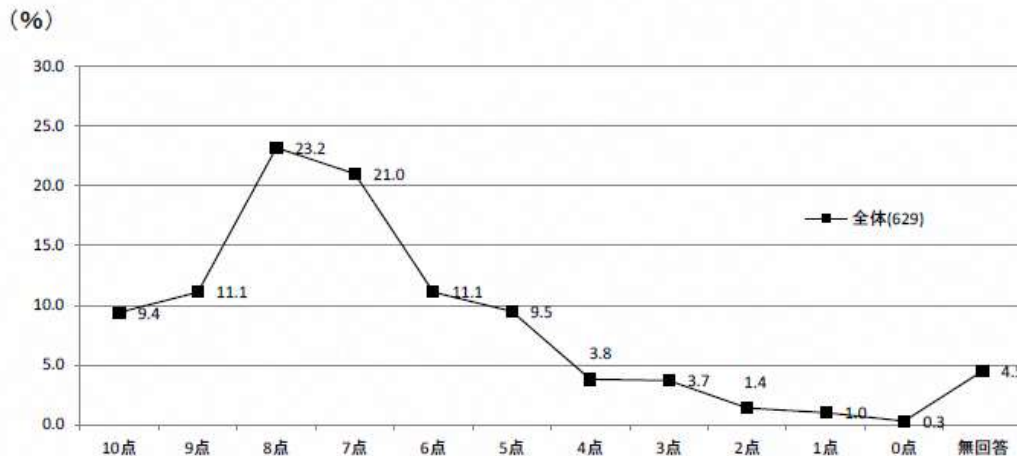
○「みどりや水辺などの自然」が58.7%で最も多く、「静かで落ち着いた住環境」が54.1%で続く。

○「多くの大きな公園」が39.3%、「日常生活に便利で暮らしやすい」が31.2%、「便利な通勤通学や都心へのアクセス」が29.1%である。



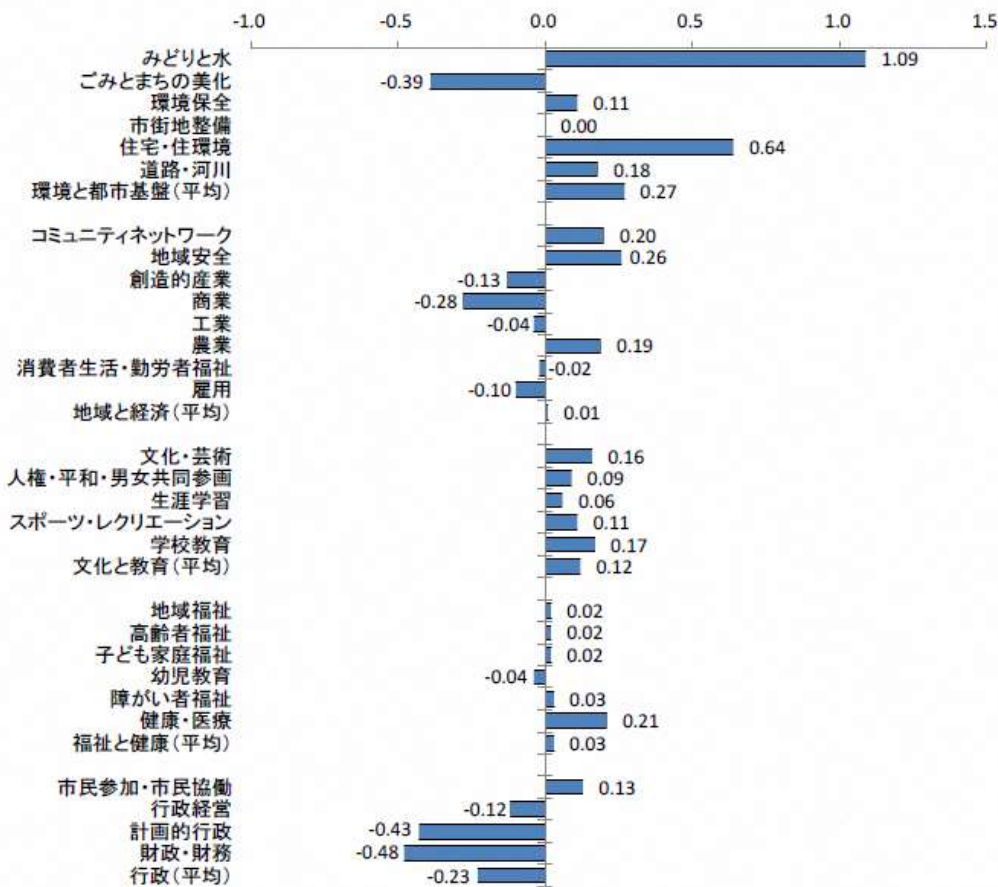
## 「しあわせ」の度合い

○「しあわせ」の度合いを尋ねたところ、「8点」(23.2%)が最も高かった。以下、「7点」(21.0%)、「9点」及び「6点」(11.1%)が高くなっている。



### 施策に対する満足度

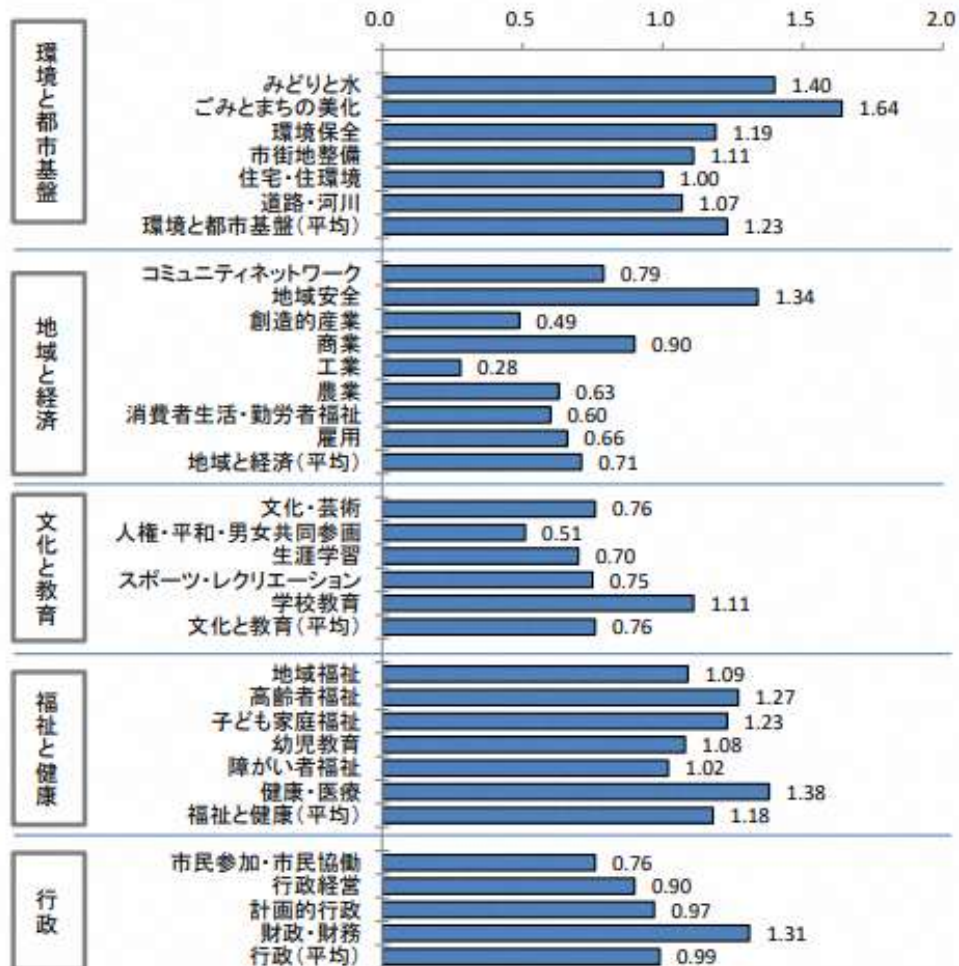
- 第4次基本構想・基本計画における施策について満足度を尋ね、その結果をスコア化した<sup>8</sup>。
- 結果、満足度のスコアの上位3位の施策は、「みどり与水」(1.09)、「住宅・住環境」(0.64)、「地域安全」(0.26)である。
- 一方、下位3位は、「財政・財務」(-0.48)、「計画的行政」(-0.43)、「ごみとまちの美化」(-0.39)である。
- 分野(「環境と都市基盤」、「地域と経済」、「文化と教育」、「福祉と健康」、「行政」)で見ると、「文化と教育」は総じて満足度のスコアがプラスであるのに対して、「行政」は「市民参加・市民協働」以外はマイナスとなっている。



<sup>8</sup> 調査では満足度を、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満足」、「不満足」の5段階で評価していただいている。スコア化にあたっては、「満足」を2点、「やや満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満足」を-1点、「不満足」を-2点として、回答者の平均として算出した。次のページの重要度も同様である。

### 施策に対する重要度

- 第4次基本構想・基本計画における施策について重要度を尋ね、その結果をスコア化した。
- 結果、重要度のスコアの上位3位の施策は、「ごみとまちの美化」(1.64)、「みどり与水」(1.40)、「健康・医療」(1.38)である。
- 一方、下位3位は、「環境と都市基盤」(1.23)、「健康と福祉」(1.18)、「行政」(0.99)である。いずれの施策もスコアは0以上となっている。

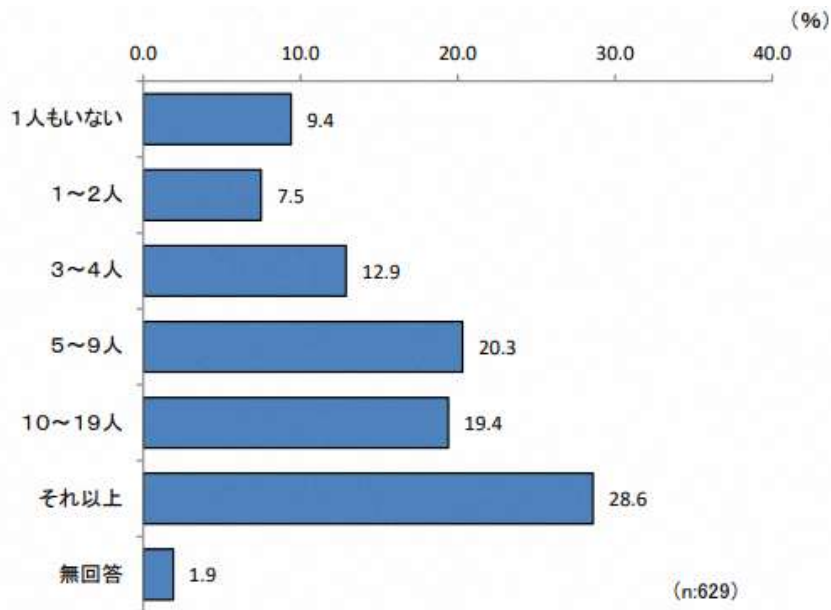


### 施策に対する満足度・重要度による分析

- 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い施策は、「ごみとまちの美化」、「財政・財務」、「幼児教育」である。

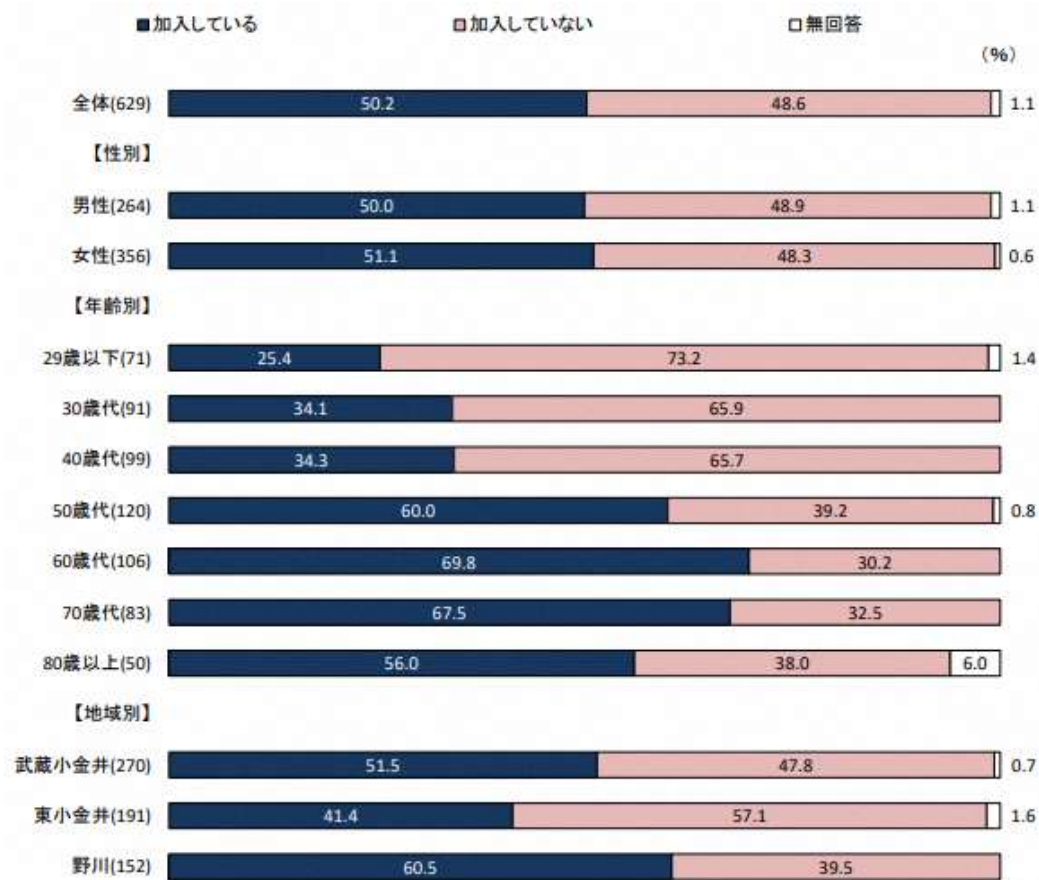
### 地域とのつながり

○地域に家族以外の顔見知りがないという人は9.4%である。1人でも顔見知りがいるという人は88.7%である<sup>9</sup>。



○町会・自治会等に参加している人は50.2%、参加していない人は48.6%である。

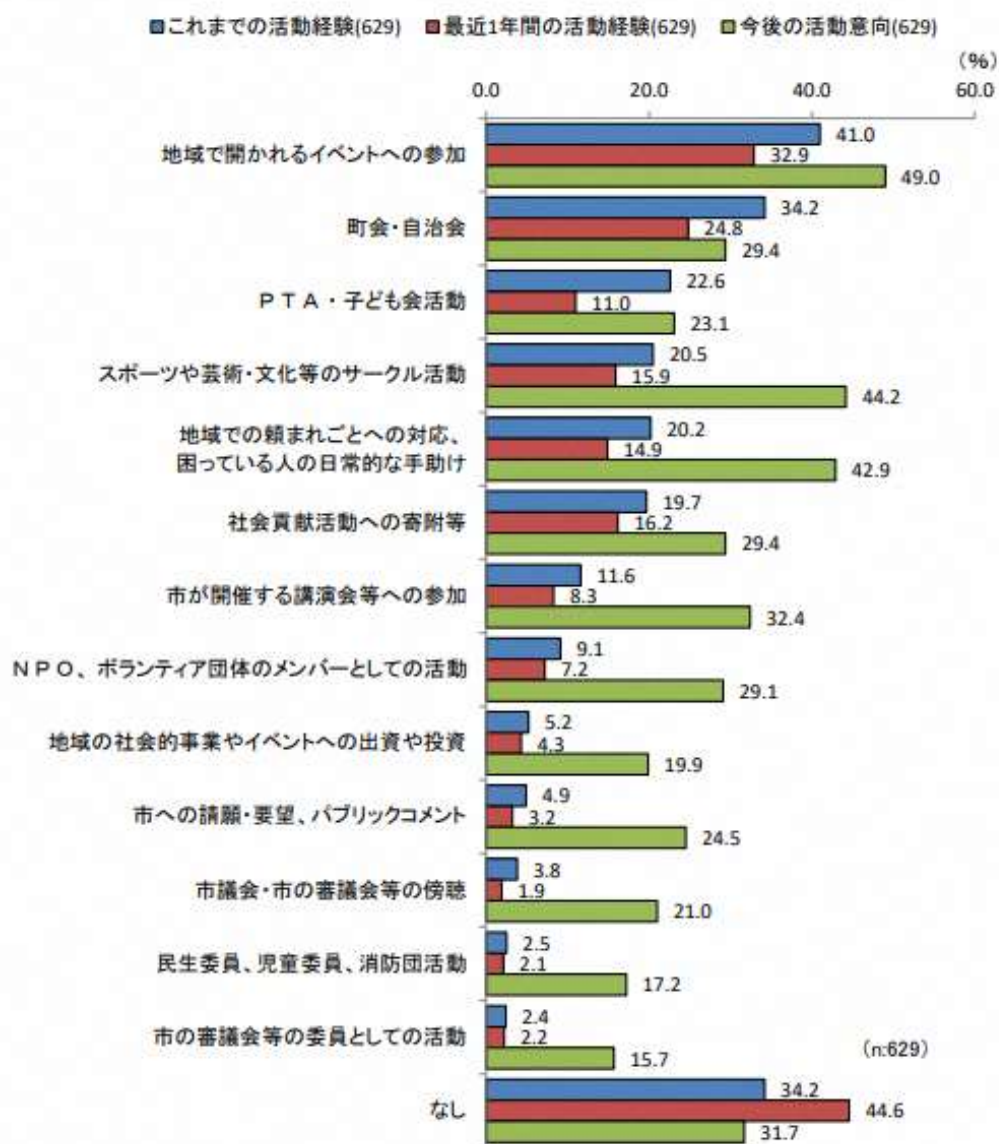
○29歳以下で参加している人は25.4%、30歳代で34.1%、40歳代で34.3%と全体に比べて少ない。



<sup>9</sup> 1人でも顔見知りがいるという人の割合は、全体から「1人もない」と「無回答」の割合を除いて算出した。

○地域活動等への参加状況について、地域での頼まれごとへの対応、困っている人の日常的な手助けを過去1年間にした人は14.9%である。そのような行いをしようという意向を持っている人は42.9%である。

○過去1年間で地域での活動に参加したことのある人は50.9%である。何らかの活動に参加したいと思う人は62.5%となっている。



## 2. 学生アンケート

---

### (1)実施概要

#### 調査目的

○小金井市内や近隣には大学等が多く立地していることから、これらの学生を対象として、小金井市の魅力や卒業後の定住意向等を把握することを目的としている。なお、本調査は、小金井市シティプロモーション基本方針の策定も目的としている。

#### 調査実施概要

- 調査対象 連携協力に関する協定を結ぶ大学及び専門学校の学生1,400人  
※東京学芸大学、東京農工大学、亜細亜大学、武蔵野大学、総合学院テクノスカレッジ、法政大学
- 抽出方法 学校により異なる。
- 調査方法 学校により異なる。
- 調査期間 平成30年7月～10月(学校により異なる。)

#### 回収結果

- 有効回答数 850人
- 有効回収率 60.7%

### (2)調査結果(まとめ)

#### 居住地について

- 小金井市に住んでいる人は8.6%であり、進学後に転入した人は全体の7.2%である。
- 進学後に現在の居住地に転入した人は約3割であり、転入した人のうち小金井市を選んだのは約2割である。
- 小金井市に住んでいる人のうち、住もうと思った理由では生活の利便性が最も多い。住んでよかったことも利便性が最も多いが、他に安全・安心や自然環境が挙げられている。
- 卒業後に小金井市に住みたいと思う人は全体で7.7%、明確に他に住みたいという人は約4割である。小金井市に住んでいる人に限ると、住みたいと思う人は約3割となる。

#### 小金井市の魅力について

- 他の地域と比べたときの小金井市に魅力としては、自然環境や住環境に関するものが特に多い。
- 一方、良いと思わないところとしては、遊びや買い物のための環境に関する意見が多く見られた。

#### 30年後の小金井市について

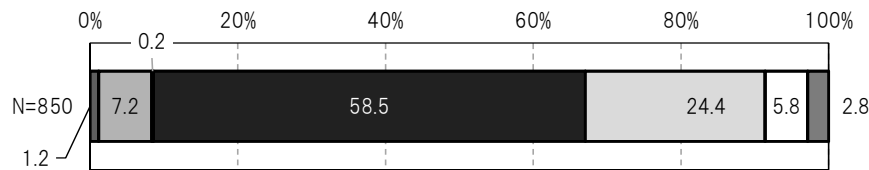
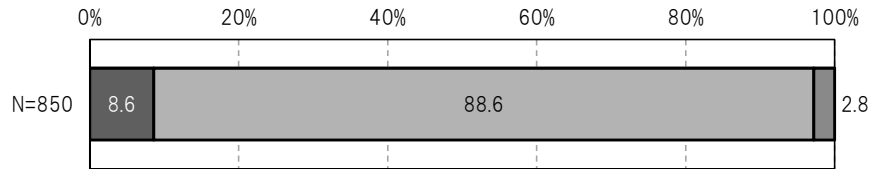
- 30年後の小金井市のあり方については、「住みやすい」という言葉が最も多く用いられていたほか、「緑(みどり)」や「自然」が多いことが特徴である。

### (3)調査結果(抜粋)

#### 居住について

○小金井市に住んでいる人は8.6%である。進学後に転入した人は7.2%である。

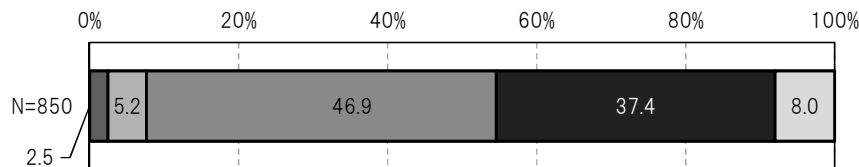
○市内市外にかかわらず進学後に現在の居住地に転入した人は31.6%である<sup>11</sup>。そのうち小金井市を選んだ人は22.7%となる。



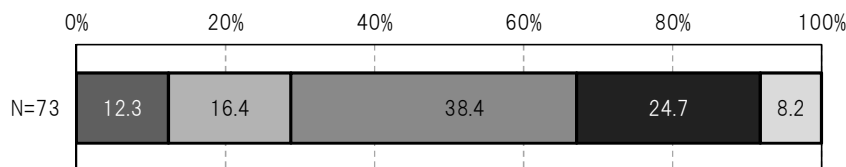
- 小金井市に住んでいる(進学前から)
- 小金井市外に住んでいる(進学前から)
- 小金井市に住んでいる(進学後に転入)
- 小金井市外に住んでいる(進学後に転入)
- その他
- 無回答

○卒業後に小金井市に住み続けたい(住みたい)と思う人は7.7%であり、住みたくないと思う人は37.4%である。

○現在、小金井市に住んでいる人に限ると住み続けたいと思う人は28.7%と多くなる。一方、住みたくないと思う人は24.7%と少なくなる。



- ぜひ住み続けたい(住んでみたい)
- 可能なら住み続けたい(住んでみたい)
- 卒業後の進路が決まらなるとわからない
- 他の地域に住みたい(小金井市に住みたくない)
- 無回答



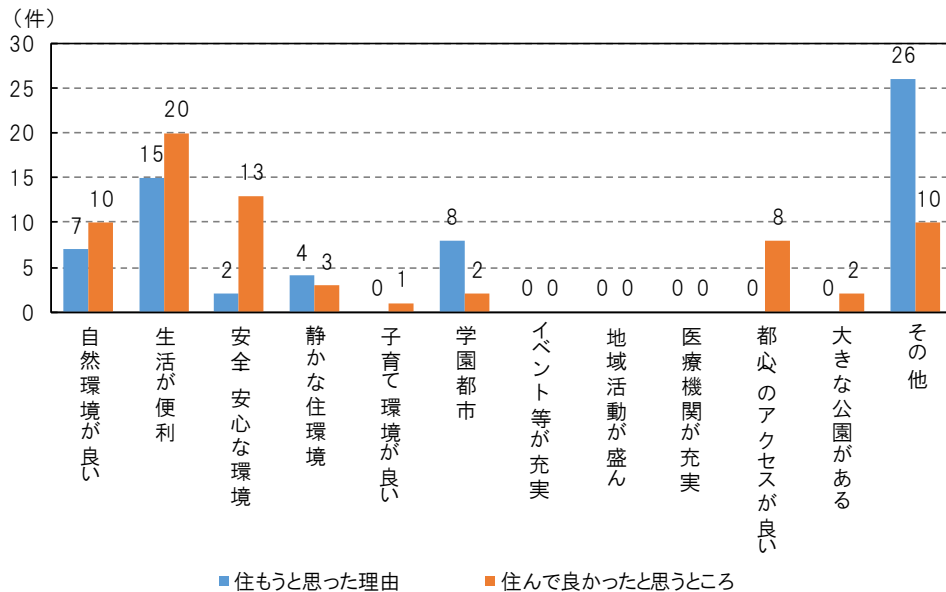
- ぜひ住み続けたい(住んでみたい)
- 可能なら住み続けたい(住んでみたい)
- 卒業後の進路が決まらなるとわからない
- 他の地域に住みたい(小金井市に住みたくない)
- 無回答

<sup>11</sup> 進学後に現在の居住地に転入した人は、選択肢のうち「小金井市に住んでいる(進学後に転入)」と「小金井市外に住んでいる(進学後に転入)」を選択した人である。



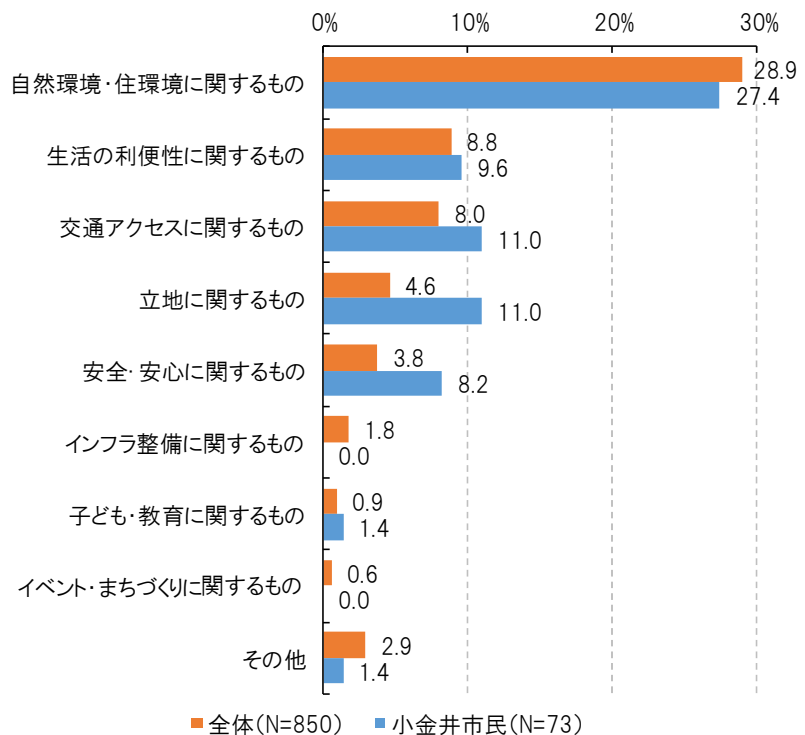
## 居住について

- 住んでいる人のうち、住もうと思った理由としては「生活が便利」が15件で最も多く、ついで「学園都市」が8件、「自然環境が良い」が7件である。
- 住んでよかったと思うところでは、「その他」を除くと、「生活が便利」が20件で最も多く、ついで「安全・安心な環境」が13件、「自然環境がよい」が10件である。
- 「生活が便利」、「自然環境が良い」は期待と実態が一致しているところであり、「安全・安心な環境」は期待よりも実態が上回っている。



## 小金井市の魅力について

- 小金井市の魅力については、「自然環境・住環境に関するもの」が全体で28.9%である。小金井市に住んでいる人に限っても27.4%と特に多い。
- 自由回答の内容を見ると、「静か」、「緑」、「豊か」、「公園」などの言葉が多い。
- 小金井市に住んでいる人に関しては、「交通アクセスに関するもの」、「立地に関するもの」も多い。



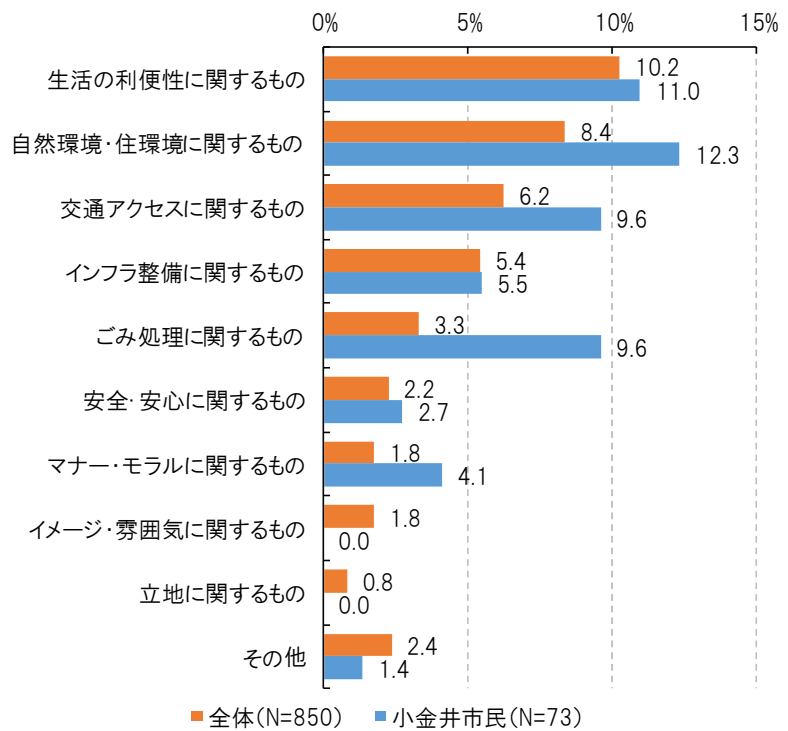
### 小金井市の悪いところについて

○小金井市の悪いところと

しては、全体では「生活の利便性に関するもの」が10.2%で最も多く、ついで「自然環境・住環境に関するもの」が8.4%、「交通アクセスに関するもの」が6.2%で続く。

○「生活の利便性に関するもの」の回答内容を見ると、「娯楽施設」、「大型商業施設」がみられる。

○小金井市に住む人に限っては、「自然環境・住環境に関するもの」が12.3%で最も多くなる。



### 3. 芸術文化振興計画推進事業(学校連携事業)

#### (1)実施概要

##### 目的

- 芸術文化の力で豊かな暮らしを育むことを目的とした小金井市芸術文化振興計画推進事業(小金井アートフルアクション!)の一環として、小学校と連携し、芸術家・作家と子どもたちが触れあい、創作・表現を行う活動を行っている。
- そのなかで、平成30年度は、第5次小金井市基本構想・基本計画の策定作業と連携し、子どもたちが自身が「いま」をみつめ、「未来」を考えてみる事をテーマとして実施した。

##### 連携校とテーマ等

学校名	テーマ	参加作家
緑小学校4年生	「からだところを感じよう」	尾花藍子(振付家)
本町小学校6年生	「詩人になってみよう」	大崎清夏(詩人)
前原小学校3年生	「未来のタネ図鑑をつくろう」	—

#### (2)結果

##### 緑小学校「からだところを感じよう！」

###### コンセプト

- 学校での勉強や、課外活動、塾など、毎日忙しい日々を過ごす子どもたちと一緒に「目的のない時間」を過ごしてみる、ということテーマにした。
- そして、普段学校や課外活動に忙しい子どもたちが「いまこの瞬間」をじっくり感じることから、自分たちの未来へ思いを馳せてみることを試みた。
- 身体を使ったプログラムを実施したため、未来へのことばとしては、まとまらなかったものの、自分たちの未来やこれから思いを馳せることの大切さを体感する機会となった。

##### 本町小学校「詩人になってみよう」

###### コンセプト

- 「今」を、子ども達がどのように生きているのか、そして、この「今」を確認しながら、将来「ここ」がどうなっていったらいいか、詩の創作を通して考えた。

###### 子どもたちから出てきた未来へのことば(抜粋)

###### 【自然】

- 私の心の中には、小さな「夢」がある。わたしは、あの桜の並木の回りが10年、いやずっとさきのみらいものこっていてほしい

###### 【かわらない小金井のまちの風景】

- ここには何もない。殺風景だと周りの人は言う。でも僕は何もないということは、今から何でもつくれることだと思う。～そんな場所のままでいてほしい

○朝学校に行く時に毎日通る交差点。～～さてこの場所の未来はどうなっている？あくまで私の理想像だが、今よりも一人一人の色があふれ今よりも人が歩いてほしい。

○私の陣地は私の家の庭。そんなに広くはない。猫が来ることもある。10年後はきれいで川も流れているといい。猫が今より増えているととても良い。

#### 【公園】

○10年後のひょうたん公園。こどもがじゆうに遊び、風景を見れるようなそんな所になっているといい。

#### 【学校】

○つかれたときの秘密の場所。…少し狭いけど安心感のある先生の机の下。10年後はどうなっているのだろう…これからも友達との話の場であり、心を休めることのできる空間であってほしい。

### 前原小学校「未来のタネ図鑑をつくろう」

#### コンセプト

○子どもたちが未来を身近に考えるために、普段彼らが遊んでいる野川に、未来に花開く「タネ」を植えてみようというテーマで造形した。

#### 子どもたちから出てきた未来へのことば(抜粋)

##### 【自然と多様性】

○あそべる木があったらぼくたちみたいな小学生がよるこぶぞと思った

○どうぶつと人間がなかよくできるといいなとかんじた。

○いろんな生き物やしょくぶつがあると楽しいと思います。

##### 【野川】

○みんなのよころぶようなかんきょうのよい生活やせいたいけいをおさえるいいの川になるとよいな…

○未来の野川はどうぶつたちがあんぜんにくらせるようないいところになったらみんながたのしくなると思います。

○野川はいろんなところに湧水があるのがしげんだし未来らしいと思います。

##### 【持続可能性のある社会】

○昔の物をのこしつつ、新しいものもふえていくといいとおもう

## 4. こが☆カフェ

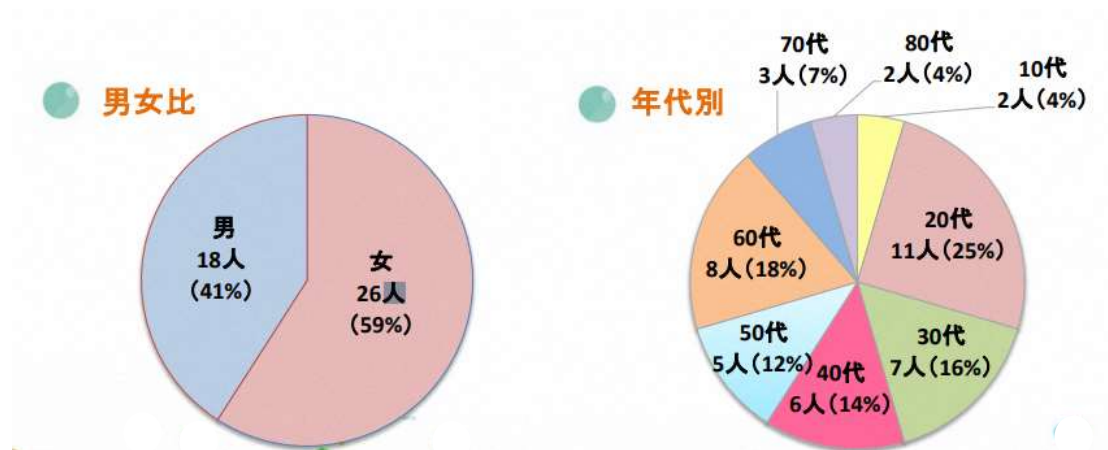
### (1)実施概要

#### 目的

○第5次小金井市基本構想・基本計画の策定にあたり、小金井市の未来について市民同士、そして職員も交えて意見やアイデアを交換することを目的として、ワールドカフェ形式のワークショップを開催した。

#### 開催概要

- 開催日時 平成30年12月8日(土)
- 開催場所 市民会館 萌え木ホール
- 参加人数 44人(一般29人、市役所職員8人、東京農工大学生7人)



#### プログラム

○以下の流れで、小金井市の現状をふり返った上で、どのようなまちが望ましいかと語り合い、自分たちに何ができるのかを考えた。

- ①「こがねい」ってどんな場所？
- ②今よりも暮らしやすい「こがねい」ってどんなまち？
- ③「こがねい」をもっと暮らしやすいまちにするために何ができますか？

## (2)結果

### ①「こがねい」ってどんな場所？

○小金井市のイメージや、まちのよいところを自由に挙げた。主だった意見は以下のとおりである。

- 桜が有名。学校が多い印象がある。
- 公園が多くて、緑が多いところがいい。
- 田舎と都会の間のようなまち。程よい感じがいい。
- 都心へのアクセスがよい。
- 穏やかな人が多い。市民活動が活発。
- 大学などが多いから若い人も多い気がする
- 外からあまり人が来ない。
- 最近空き家が増えてきている

### ②今よりも暮らしやすい「こがねい」ってどんなまち？

○上記①にて話し合った小金井市の現状を踏まえ、どのようなまちになれば現在よりも暮らしやすくなるかという点を話し合った。主だった意見は以下のとおりである。

- 開発と自然が共存しているまち
- 施設や交通が整うことで高齢者も暮らしやすいまちになる。
- もっとお店が増えると楽しい。
- 子育てしながらでも働ける場所があるとよい。
- まちの情報がみんなと共有できると便利だ。
- 自治会や子ども会など、人との関わりが活発なまち
- 地域のつながりがあるまち。若い人と高齢者が一緒に過ごせる場所があるとよい。
- 大学生が地域の人と活動できるまち

### ③「こがねい」をもっと暮らしやすいまちにするために何ができますか？

○上記②で提案されたまちの姿を実現するために、自分たちが何をできるのかを話し合った。主だった意見は以下のとおりである。

- 今ある自然を大切に作る。
- 災害に備えて町内会などのコミュニティ活動に参加してみる。
- たまには地元のお店で買い物をする。
- まちをもっと知ることが大事である。
- 多様な場をつくり、そこで愛着を育む。
- 大学生にもメリットとなるように、まちづくりに関わってもらう
- きっかけをつくる人、仲介者を育てる。

## 5. 子ども懇談会

### (1)実施概要

#### 目的

○第5次小金井市基本構想・基本計画の策定にあたって、基本構想にて掲げる将来像を検討するため、未来のまちの担い手となる中学生にアイデアを検討し、発表してもらう場を設けた。

#### 開催概要

■開催日時 令和元年5月22日(水)

■開催場所 本庁舎3階 第1会議室

■参加人数 中学生 19人(各校3～4名)

市 市長、副市長、教育長、企画財政部長、学校教育部長ほか

### (2)結果

#### 中学生から提案された将来像案

no	学校名	将来像案
1	小金井第一中学校	小金井の桜 東京の湧水 日本のとき
2		自然を守ろう 笑顔育てよう 夢をはぐくむ町 小金井
3		多種多様な人がつながるまち
4	小金井第二中学校	育つ子どもは桜とともに未来へ羽ばたく小金井市
5		桜が子どもに笑うまち
6		桜が子どもと育つまち
7	東中学校	多いぞ緑 増えるぞ笑顔 創ろう絆 小金井市
8		強い地域の絆・豊かな自然・満開の笑顔咲く 小金井市
9		豊かな自然、あたたかな人、笑顔あふれる 小金井市
10	緑中学校	ゆりかごから墓場まで
11	南中学校	桜が映える、緑豊かな 笑顔あふれる小金井
12		桜咲く 笑顔咲く 小金井市

#### 提案趣旨

no	提案趣旨
1	小金井市が誇れるものは桜、湧水、標準時刻である。将来像ではなく、現状かもしれないが、個の姿を10年後にも守り続けていくことが大事だ。それを後世に伝えていきたい。
2	自然を守ることが大事であり、それによって伸び伸びと暮らしていける。小金井市のよさを宣伝できれば、多くの人に住みたいと思ってもらえる。
3	若者は高齢者と関わらないが、もっといろんな世代に接して欲しい。東京オリンピック・パラリンピックもあるので、いろんな国と関係を持って欲しい。

no	提案趣旨
4	3つに共通するのは、生活する上でよいと思うのは自然が多くて、いろんなコミュニティがあることだ。そのなかで活動する場を与えてもらっている。そのおかげで成長しやすくなっていると思う。
5	子どもが育つことが一番の魅力だと思う。武蔵小金井駅周辺は再開発が進んでいるが、美しい自然を残していきたい。美しい自然と子どもが育ちやすい環境を残すことが大事だと思う。
6	
7	小金井市には緑が多いので、子どもから高齢者まで健康に過ごさせている。その自然を守りたい。市民の絆が増えることも願っている。
8	災害や犯罪などに負けない絆のある小金井であってほしい。自然、まちなかの緑が残って欲しい。桜のような美しい笑顔が咲きつづけて欲しい。
9	緑豊かな小金井市の環境が 10 年後もこのまま続いてほしい。あたたかな人々とのつながりを大切にしたい。そして、小金井市民が笑顔でずっといられるといいなという思いを込めている。
10	イギリスの福祉社会のキーワードだが、小金井市にはそれぞれの年代に応じたよいところがある。その良さを活かして、小金井市で生まれた人はずっと住み続けたい、移り住んできた人は小金井市でよかった、そして市を離れても戻ってきたいと思うまちであってほしい。上位のランキングになってほしい。
11	「桜が映える」というキーワードが素敵である。小金井市の魅力である自然を大切にしながら、もっと笑顔があふれるまちにしたいと思って選んだ。
12	リズムがよいことと、桜が咲くように市民の笑顔も咲いてほしいと思った。

### 中学生が思う小金井市のよいところ


- その他、中学生が思う小金井市のよいところを発表してもらったところ、自然やみどり、桜に関する意見が多かった。
  - 自然が多い。小さなころに近くの公園で遊んだり、さくらまつりに参加した。自然に育てられた。
  - 野川クリーン大作戦のような活動など、自然を大事にする精神がある。
- また、自然等の豊かさを、子どもや高齢者が暮らす上での環境のよさと結びつける意見も聞かれた。
  - 川辺の環境や公園。子どもや高齢者の過ごす場所として最適だと思う。
  - 生活環境としては便利なのに自然豊かなまちは住むにも、子育てにもよい。
- そのほか、地域コミュニティや地域活動に対する市民の積極性を挙げる意見も聞かれた。
  - いいまちにしたいと思う人にあふれているのは、ボランティアに積極的な人が多いから。
  - 子どもでもボランティア活動に参加すると、いっしょによい小金井にしようという雰囲気がある。
  - 地域の人がやさしい。だから子どもがのびのび育つ。
- 近所に子どもの面倒を見てくれる人がいて、あたたかいまちだと思う。



## (参考) 各市民参加機会の結果

### 目次

- 1 市民意向調査…冊子
- 2 学生アンケート
- 3 芸術文化振興計画推進事業(学校連携事業)
- 4 こが☆カフェ
- 5 子ども懇談会



次頁以下

## 学生アンケート集計結果

対象者数 1400人

回答者数 850人 (回答率 60.7%)

広報秘書課集計分  
(小金井市シティプロモーション基本方針策定を目的に実施)

### ● 住みやすさについての設問

#### 設問1 現在の住まいについて

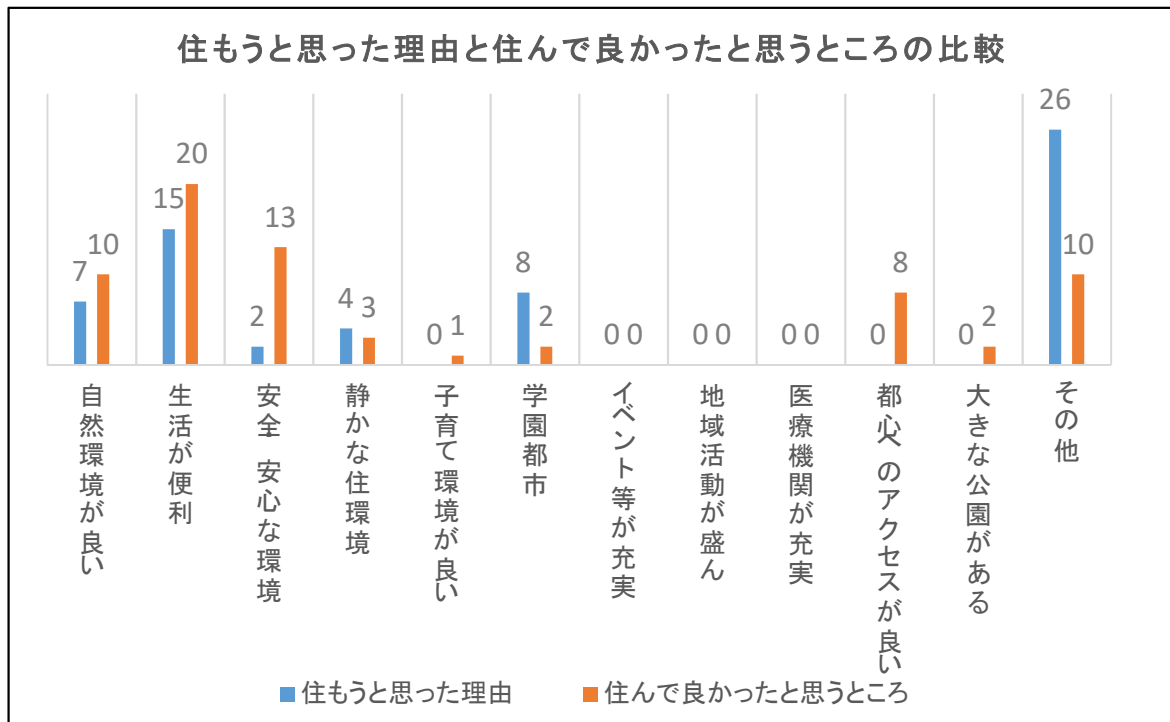
- 小金井市に住んでいる方 73人 ( 8.6%)  
(うち、もともと住んでいる方 10人、 通学のために転入した方 61人)  
小金井市に住んでいない方 753人 ( 88.6%)  
(うち、通学のために他市へ転入した方 207人)  
無回答 24人 ( 2.8%)

#### 設問2 小金井市に住もうと思った理由

- 1位 生活が便利 15人 ( 24.2%)  
2位 学園都市 8人 ( 12.9%)  
3位 自然環境が良い 7人 ( 11.3%)

#### 設問3 小金井市に住んで良かったと思うところ

- 1位 生活が便利 20人 ( 29.0%)  
2位 安全・安心な環境 13人 ( 18.8%)  
3位 自然環境が良い 10人 ( 14.5%)



設問4 小金井市に転入しなかった理由

小金井市より住みたい市があった 107人 ( 14.2% )  
 (今住んでいる所のほうが良い点があった)

【他地域の長所として主な意見】

- ・学校に近い (36人)、交通の便がよい (26人)
- ・家賃が安い (15人)、ごみ出しが無料 (1人)
- ・店が多くある (4人)、栄えている (3人)、生活が便利 (1人)

小金井市に住みたくなかった 11人 ( 1.5% )  
 (小金井市は今住んでいる所より良くない点があった)

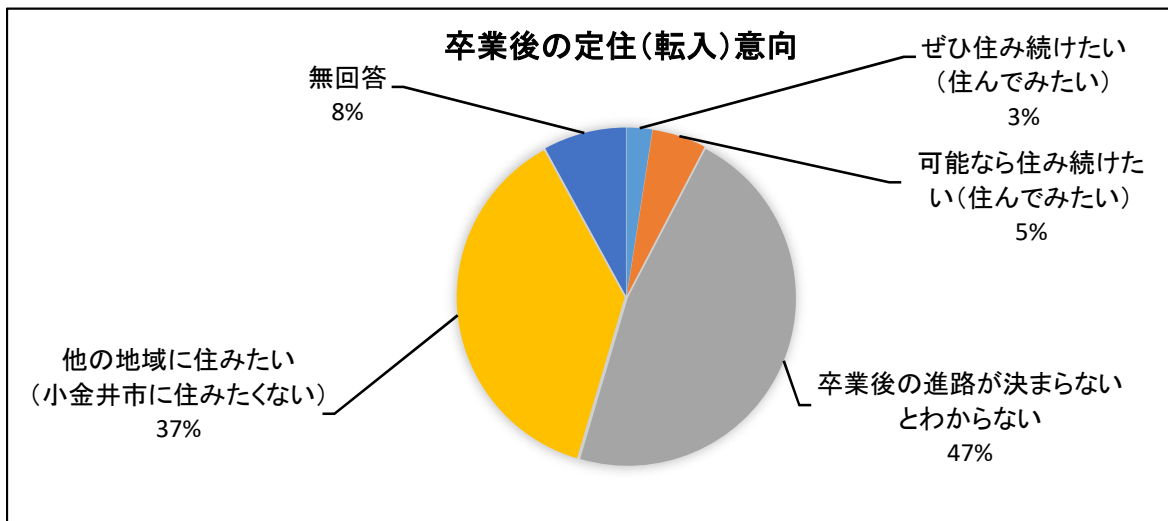
【他の地域と比べた短所として主な意見】

- ・交通の便がよくない (2人)、学校から遠い (1人)
- ・家賃が高い (2人)
- ・利便性がよくない (2人)
- ・坂が多い (2人)

通学に伴う引越しはしていない 557人 ( 74.0% )  
 (引っ越す必要がなかった)

設問5 卒業後、小金井市に住み続けたい (住んでみたい) と思うか。

ぜひ住み続けたい (住んでみたい) 21人 ( 2.5% )  
 可能なら住み続けたい (住んでみたい) 44人 ( 5.2% )  
 卒業後の進路が決まらなるとわからない 399人 ( 46.9% )  
 他の地域に住みたい (小金井市に住みたくない) 318人 ( 37.4% )  
 無回答 68人 ( 8.0% )



【住みたいと答えた主な理由】

- ・住みやすい (8人)、住み慣れている (4人)、現状に満足 (2人)
- ・交通の便がよい (5人)、学校に近い (4人)、都心に近い (3人)

【住みたくないと答えた主な理由】

- ・実家・地元・今住んでいる所に住みたい (92人)、引越したくない (17人)
- ・就職先が遠い (34人)、交通の便が悪い (11人)、都会に住みたい (10人)
- ・小金井のことをよく知らない (14人)、魅力を感じない (7人)

設問6 他の地域と比べた小金井市の良いところ、悪いところ

(1) 良いところの主な意見

- ・自然環境・住環境に関するもの (246人)  
〔自然が豊か、緑が多い、静か、公園がある、駅・駅周辺がきれい〕

---

- ・生活の利便性に関するもの (75人)  
〔店が多い (スーパー、コンビニ等)、駅周辺が栄えている〕

---

- ・交通アクセスに関するもの (68人)  
〔バスが多い、中央線が通っている、始発・終電がある〕

---

- ・立地に関するもの (39人)  
〔都心に近い、大学に近い、吉祥寺に近い〕

---

- ・安全・安心に関するもの (32人)  
〔治安がよい、安心感がある、平和〕

---

(2) 悪いところの主な意見

- ・生活の利便性に関するもの (87人)  
〔遊び場・娯楽施設がない、大型商業施設・ショッピングモール等がない〕

---

- ・自然環境・住環境に関するもの (71人)  
〔坂が多い・長い・きつい、田舎 (都会でない)、自然・緑が少ない〕

---

- ・交通アクセスに関するもの (53人)  
〔中央特快等がとまらない、小金井公園へのアクセスが悪い〕

---

- ・インフラ整備に関するもの (46人)  
〔道が狭い、信号が長い・多い、道が混んでいる〕

---

- ・ごみ処理に関するもの (28人)  
〔処理が有料、分別が大変、焼却場がない〕

---

● 広報についての設問

設問1 小金井市と聞いてイメージするもの（こと）

関心がないのでわからない 607人（76.0%）

【イメージの主なもの（こと）】

・小金井公園（40人）、公園（4人）

・学校がある等（大学・学校：14人、東京学芸大学：9人、東京農工大学：4人、法政大学：4人、総合学院テクノスカレッジ：4人、武蔵野大学：1人）

・こきんちゃん（12）

・駅（武蔵小金井駅・ムサコ：7人、東小金井駅：2人、駅がでかい：1人、似た名前の駅が多い：1人）

・桜（桜：6人、桜まつり：2人、小金井桜1人）

・緑、緑が多い、緑が豊か等（8人）

・自然（6人）、武蔵野の自然（1人）

・田舎（3人）、静か（3人）

・時計（2人）、時間（2人）、情報通信機構（2人）

・スタジオジブリ（ジブリ：3人、宮崎駿監督：2人）

・江戸東京たてもの園（3人）

・友人の家（2人）、おばあちゃん家（1人）

・その他（各1人）

いなげや、安全、西岡市長、こどもが多い、水、ごみ袋が高い、あつい、便利、ドン・キホーテ、教育機関が充実、次男坊、子育て環境が良い、道が広い、ピンクのバス、都会の横、おだやか、人がやさしい、23区外、多摩地区、小金井街道、ベッドタウン、平和、森林、普通、都会、終点、湧き水、野菜、東八道路、チェーン店が多い、さくら体操、二枚橋焼却場、爬虫類が売られている、府中運転免許試験場、イトーヨーカドー、遠い、府中のとなり、交番が多い

設問2 小金井市の情報の入手手段

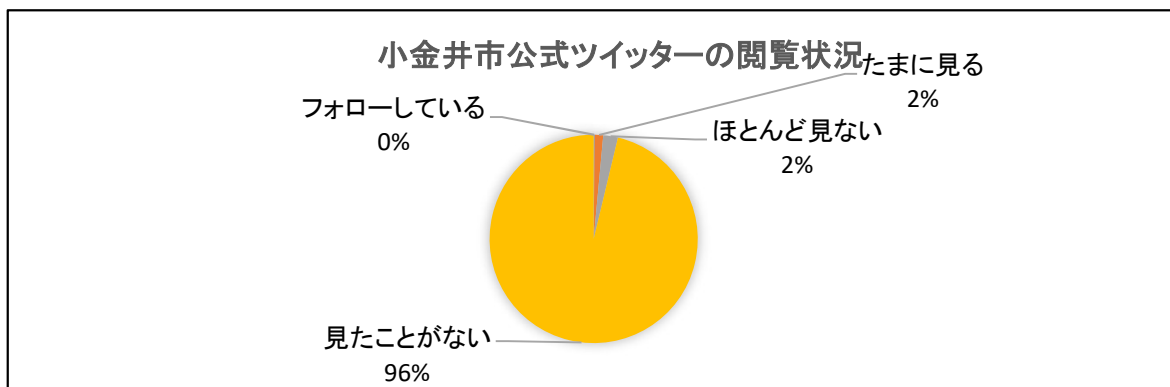
小金井市報	12人	（ 1.5%）
ホームページ	27人	（ 3.4%）
ツイッター	14人	（ 1.8%）
掲示板	10人	（ 1.3%）
家族・友人から聞く	84人	（ 10.5%）
関心がない	675人	（ 84.4%）

設問3 ツイッターの活用状況

アカウントを持っている 466人 ( 57.5%)  
必要に応じて見るだけ 174人 ( 21.5%)  
まったく使わない 170人 ( 21.0%)

設問4 小金井市公式ツイッターの閲覧状況

フォローしている 1人 ( 0.1%)  
たまに見る 9人 ( 1.3%)  
ほとんど見ない 15人 ( 2.2%)  
見たことがない 644人 ( 96.3%)



設問4-2 小金井市公式ツイッターを見ない理由

おもしろい記事がない 2人 ( 0.3%)  
小金井市に関心がない 75人 ( 11.4%)  
あることを知らない 580人 ( 88.3%)

設問4-3 どんな内容の記事なら見るか

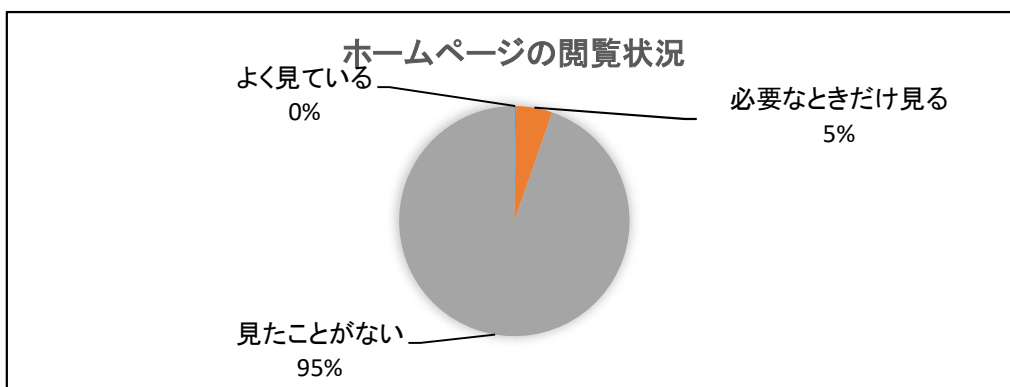
- ・イベントの情報 (イベント、行事、お祭り等)
- ・お店の情報 (おいしい店、お勧めの店、割引・セール情報等)
- ・地域の情報 (小金井の魅力・特徴、地域のニュース等)
- ・生活の情報 (災害・天気、交通機関等)
- ・場所 (穴場、観光スポット、インスタ映えする場所等)

設問4-4 ツイッターの改善点

- ・もっと周知する。知名度を上げる。
- ・内容をもっと面白くする。
- ・アピール・インパクトを強くする。
- ・話題になることやイベントを通じて拡散する。
- ・写真を増やす。固くない文章にする。若者にも親しみやすくする。

設問5 小金井市ホームページの閲覧状況

よく見ている 2人 ( 0.3%)  
必要なときだけ見る 40人 ( 5.1%)  
見たことがない 747人 ( 94.7%)



設問5-2 どんなときに見るか

- ・図書館、自転車駐車場、その他市の施設を利用するとき。
- ・学校の授業、研究、レポート等で必要なとき。
- ・市役所の手続き等で必要なとき。ごみの出し方を見る時。
- ・イベント情報を見たいとき。
- ・災害時。

設問5-3 ホームページの見やすさ

見やすい 34人 ( 94.4%)  
見やすすくない 2人 ( 5.6%)

【改善点】

- ・大学生にも分かりやすい言葉だとい。
- ・トップページから知りたいページまでたどり着きづら。
- ・ツイッターのアカウントも載せてはどうか。
- ・更新日が古い情報を信頼してよいのか不安になる。

## 学生アンケート 集計結果（企画政策課分）

<設問>

「30年後」の小金井市がどんなまちになると良いと思いますか。  
漠然としたイメージやアイデアでも構いませんので、自由に記入してください。

<回答数> 339

※集計方法について

例:「緑豊かで、カフェがたくさんある」という回答は、「回答数」では1件として計上し、  
下表では、緑1件・カフェ1件とする。

<概要>

※実際の回答は、別紙のとおり

(単位:件)

	30年後の小金井市		合計
気質・風土に関する事	落ち着き		5
	涼しい		1
	栄える		7
	にぎやか		5
	静か		5
	爽やか		1
	素敵		6
	きれい		17
	優しい	<対象(誰に対して)> 子ども1・高齢者1・学生1・外国人1・他3	7
	盛ん		2
	明るい		3
	楽しい		3
	活気		1
	美しい		1
	笑顔		3
	おしゃれ		2
	温かい		4
	住みやすい	<対象(誰が)> 子ども1・学生3・高齢者2・ファミリー層1 <理由(なぜ)> 環境整備1・治安4 <その他>40	52
	自由		1
	平和		6
幸せ		2	
愛		2	
音楽		1	
			147



	有名		6		
	田舎		4		
自然に関すること	緑		22	64	
	自然		28		
	森		3		
	公園	花火大会等開催できる大きな公園2 他8	10		
	小金井公園		1		
具体的な地名・固有名詞	三鷹市		1	7	
	武蔵野市(吉祥寺)		1		
	つくば市		1		
	新宿区		1		
	渋谷区		1		
	青森ねぶた祭り		1		
	ハブ空港		1		
施設に関すること	公共施設	スポーツ施設	1	3	53
		駐輪場	1		
		駐車場	1		
		その他			
	娯楽施設	博物館	1	7	
		温泉	1		
		映画館	2		
		その他	3		
	商業施設	ショッピングモール	6	43	
		お店	11		
		飲食店	8		
		カフェ	5		
		コンビニ	1		
		その他(駅前再開発5含む)	12		
	建物に関すること	種別	マンション	2	
ビル			2		
その他					
状態		老朽化	1	4	
		最新化	2		

	状態	バリアフリー化	1		
		その他			
交通環境に関すること	道	道幅	7	10	30
		坂	2		
		散歩道	1		
		その他			
	バス	運行本数	2	3	
		深夜料金(廃止)	1		
		その他			
	鉄道	特快	5	10	
		特急	1		
		(中央線の)複々線化 <例> 西武線を取り入れる	3		
		一区間の距離短縮	1		
		その他			
	その他		7	7	
暮らしに関すること	一般	ごみ (ごみ処理1・ごみ袋代1・ごみゼロ1・ごみ分別1)	4	14	
		地域コミュニティ	10		
		その他			
	経済面	物価	1	5	
		家賃	2		
		裕福	2		
		その他			
	教育(子育て環境)	保育園	1	14	
		幼稚園	1		
		補助金	1		
		その他	11		
	その他	イベント	3	18	
		安心・安全 (防災に強いまちも含む)	7		
		ベッタウン	7		
		少子高齢化対策	1		

景観に関すること	大都市			10	10
	分類不可	発展	ドローン	1	6
AI			1		
その他			4		
合併		小金井市・府中市・調布市・稲城市・多摩市・立川市	1	2	
		小金井市・府中市	1		
その他			44		
				422	

「分類不可-その他」の回答		
①イメージ等	②意見・要望	③アイデア
市民が小金井の良いところを持っているようなまち	SEIYUの跡地を何とかして欲しい	サッカーチームを作る
宙に浮いている車があると思う	不祥事のない市政をお願いします	ご当地キャラクターを作る
水道からお茶が出るようなまち	メガドンキの深夜2時営業は継続して欲しい	大学と提携し、広報物を発行する
床が自動で動く	農学部(府中)と工学部(小金井)がもっと近くなるようになるといい	名産品を作る
「時」というのをもっと最大限に使ったまち		観光地を増やす
車が空を飛んでいて欲しい		イルミネーションを華やかにする
コンビニがなくなる		武蔵野大学を駅近にする
635mの小金井タワーが建つ		

※他:「わからない」・絵 10件 , 「変わらない」 15件

# 学生アンケートご協力をお願い —あなたの声をお聴かせください—

平素より、市政にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市では、このたび市の魅力を広く市内外へ発信するシティプロモーションについて、より戦略的・継続的に実施するための指針となる、基本方針の策定を検討しております。その参考とするため、これからの時代を担う世代である、学生の方々のご意見をお聞きしたく、「学生アンケート」を実施することといたしました。

つきましては、別紙「学生アンケート」に、現在通われている学校名を記入の上、「住みやすさについての設問」、「広報についての設問」、「これからの小金井市についての設問」のそれぞれにご回答ください。

なお、本アンケートは、本市との連携協力に関する協定等を締結している大学・専門学校を中心に、東京学芸大学、東京農工大学、亜細亜大学、武蔵野大学、総合学院テクノスカレッジ、法政大学に依頼しております。

ご回答いただいた内容は、集約の上、市政運営の貴重な資料として活用してまいります。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成30年7月 小金井市長 西岡 真一郎

<本アンケートに関する問い合わせ先>

●住みやすさについての設問及び広報についての設問

小金井市役所 企画財政部 広報秘書課

TEL：042-387-9803 FAX：042-387-1224

Eメール：s010399@koganei-shi.jp

●これからの小金井市についての設問及び市民参加イベントについて

小金井市役所 企画財政部 企画政策課

TEL：042-387-9800 FAX：042-387-1224

Eメール：s010199@koganei-shi.jp

学生アンケート（学校名： ）

● 住みやすさについての設問

設問1 現在の住まいについて

※ 次の6つのうち該当するものを1つだけ選んで番号に○をつけてください。

【小金井市に住んでいる方】

- 1 5年以上小金井市に住んでいる → 設問3へ
- 2 通学のために小金井市に転入した → 設問2へ
- 3 通学とは別の理由で小金井市に転入した → 設問2へ

【小金井市に住んでいない方】

- 4 5年以上（ ）に住んでいる → 設問4へ
- 5 通学のために（ ）に転入した → 設問4へ
- 6 その他（ ） → 設問4へ

設問2 小金井市に住もうと思った理由

※ 次の中から最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 自然環境が良い
  - 2 生活が便利
  - 3 安全・安心な環境
  - 4 静かな住環境
  - 5 子育て環境が良い
  - 6 学園都市
  - 7 イベント等が充実
  - 8 地域活動が盛ん
  - 9 医療機関が充実
  - 10 都心へのアクセスが良い
  - 11 大きな公園がある
  - 12 その他（ ）
- 設問3へ

設問3 小金井市に住んで良かったと思うところ

※ 次の中から最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 自然環境が良い
  - 2 生活が便利
  - 3 安全・安心な環境
  - 4 静かな住環境
  - 5 子育て環境が良い
  - 6 学園都市
  - 7 イベント等が充実
  - 8 地域活動が盛ん
  - 9 医療機関が充実
  - 10 都心へのアクセスが良い
  - 11 大きな公園がある
  - 12 その他（ ）
- 設問5へ

設問4 小金井市に転入しなかった理由

※ 該当するものを1つ選び、それぞれご意見をお書きください。

- 1 小金井市より、今住んでいるところのほうが  
( ) が良いから
- 2 小金井市は、今住んでいるところと比べて  
( ) が良くないから
- 3 特に引っ越す必要(理由)がなかったから
- 4 その他  
( )

→ 設問5へ

設問5 大学卒業後、小金井市に住み続けたい(住んでみたい)と思いますか。

※ 該当するものを1つ選び、その理由をお書きください。

- 1 ぜひ住み続けたい(住んでみたい)  
[理由: ]
- 2 通勤等が可能なら住み続けたい(住んでみたい)  
[理由: ]
- 3 卒業後の進路が決まらなるとわからない  
[理由: ]
- 4 他の地域に住みたい(小金井市に住みたくない)  
[理由: ]

→ 設問6へ

設問6 他の地域(住んでいるところ、出身地、近隣市など)と比べ小金井市の良いと思うところ、悪いと思うところはどんなところですか。(自由意見)

(1) 良いところ

[ ]

(2) 悪いところ

[ ]

住みやすさについての設問は以上です。→ 広報についての設問へ

## ● 広報についての設問

設問1 小金井市と聞いてイメージするもの(こと)を一言でいうと何ですか。  
1 [ ] (自由意見)

2 関心がないのでわからない

→ 設問2へ

設問2 小金井市の情報を何で入手していますか。(複数回答あり)

1 小金井市報

2 ホームページ

3 ツイッター

4 掲示板(広報掲示板・市民掲示板)

5 家族・友人から聞く

6 情報を入手していない(関心がない)

→ 設問3へ

設問3 ツイッターを活用していますか。

1 アカウントを持っている → 設問4へ

2 必要に応じて見るだけ → 設問4へ

3 まったく使わない → 設問5へ

設問4 小金井市公式ツイッターを見ていますか。

1 フォローしている → 設問4-4へ

2 たまに見る → 設問4-4へ

3 ほとんど見ない → 設問4-2へ

4 見たことがない → 設問4-2へ

設問4-2 小金井市公式ツイッターを見ない理由

1 おもしろい記事がない

2 小金井市に関心がない

3 あることを知らない

→ 設問4-3へ

設問4-3 どんな内容の記事が発信されれば見たいと思いますか。(自由意見)

[ ]

→ 設問4-4へ

設問 4-4 小金井市公式ツイッターについての改善点を聞かせてください。  
(自由意見)

[ ]

→ 設問 5 へ

設問 5 小金井市公式ホームページを見たことがありますか。

- 1 よく見ている → 設問 5-3 へ
- 2 必要なときだけ見る → 設問 5-2 へ
- 3 見たことがない → 終了

設問 5-2 どんなときに小金井市公式ホームページを見ますか。(自由意見)

[ ]

→ 設問 5-3 へ

設問 5-3 小金井市公式ホームページの見やすさについて

- 1 見やすい
- 2 見やすすくない

改善したほうが良い点：  
[ ]

広報についての設問は以上です。→ これからの小金井市についての設問へ



● これからの小金井市についての設問

設問1 「30年後」の小金井市がどんなまちになると良いと思いますか。漠然としたイメージやアイデアでも構いませんので、自由に記入してください。

【小金井市に在住・在学の皆さんへのお願い】

小金井市では、市の方針を定める最上位計画を新しく策定するため、広く市民の皆さんのご意見を伺う市民参加イベントを、平成30年12月頃を開催する予定です。「少し参加に興味がある」という方は、下記に氏名、住所、電話番号等のご記入をお願いいたします。後日改めてご案内させていただきます。

なお、イベントの参加人数には限りがありますので、全ての方にご案内できない場合がございます。予めご了承ください。また、ご記入いただいた個人情報は、イベント開催の目的以外では、利用しません。

氏名： \_\_\_\_\_

住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

小金井市 長期計画

小学校連携事業報告 2018年度

# 緑小学校「からだところを感じよう」

4年1組2組3組 振付家：尾花藍子 緑小 図工専科 鈴木容子

## 【コンセプト】

学校での勉強や、課外活動、塾など、毎日忙しい日々を過ごす子どもたちと一緒に「目的のない時間」を過ごしてみる、という事をテーマにしました。そして、普段学校や課外活動に忙しい子どもたちが「いまこの瞬間」をじっくり感じることから、自分たちの未来へ思いを馳せてみることを試みました。

ゲストアーティストには、身体表現を通して作品を制作されている尾花藍子さんをお呼びして、「ことばを使わないコミュニケーション」を通して、自分のいまの気持ちや、身体感覚をじっくりと味わう授業を3回実施しました。すべきことや、明確なゴールが与えられない中で、子どもたちは、最初は戸惑いながら、からだところを使ってのびのびとプログラムに参加してくれました。また図工の時間に、身体を使ったプログラムをすることで、子どもたちから、「これは図工なのか？」「そもそも図工ってなんだろう？」と図工を相対化する問いかけが出てきたことは驚きでした。3回の授業の後、「未来につながれみどりワールド」をテーマにしたみどり展に合わせて、保護者の方と一緒に校庭でワークショップを実施しました。

## 【ある日のプログラムの一部】

○目をつむる→ゆっくりと立つ→目をつむって歩いてみる

→気配を感じて、周りの音を聞く

「どんな音が聴こえてくる？」

○もう一回やってみる

「どんな音が聴こえたかな？さっきと違う音を見つけてみよう？」

○2人組で言葉をつかわないコミュニケーションをしてみる

話さない、触らない、ジェスチャーをしない、ものを使わない

「相手の気配を頭の片隅で感じてみよう」

# 小金井市立本町小学校「詩人になってみよう」

6年1組2組 詩人：大崎清夏 本町小学校 図工専科 日下美和

## 【授業コンセプト】

小金井の街で暮らす子供達が日々どのようなことを感じているのでしょうか？どのようなことに喜び、悲しみ、苦しみ、そしてどのように新しい回路を見出そうとしているのか？今回のプロジェクトでは、「今」を、子供達がどのように生きているのか、そして、この「今」を確認しながら、将来「ここ」がどうなっていったらいいか、詩を通して考えました。

対象は、本町小の6年生でした。活動はグループではなく、あえてひとりで「孤独」の中で創作してみることを大切にしました。共同作業では埋もれてしまいがちな自分自身に対する問いかけや答えが見つからない迷いのようなものをきちんと感じる、考えることを大切にすることを目指しました。

また、子供達が自分を取り巻く環境や出来事に關心を持って眺めることで、日々の中のままざまな出来事から紡がれる人との出会いや交流を通して、自分だけの物語の世界を持つことが、彼らにとってこの厳しい社会を生き抜く心の支えになるかもしれないという願いを込めて、毎日歩いている通学路等から陣地にしたい場所を選び、その場所がどんな場所になっていったらいいかという妄想を膨らませ、それを主題とした詩を書き、詩碑を造形しました。

完成した詩碑は、「保健室」「教室」「校庭の裏」など学校内でそれぞれ選んだ場所に飾り鑑賞しました。

将来を問うことは否応無しに、今を問うことでもある、ということも今回の活動を通して見えてきたことでもあります。「今」に生きる子どもたちが書いた詩は、彼らの大切な場所、日々の生活の実感、そして未来へのささやかな思いが込められています。

## 【第1回】11月20日（火）

- ・「皆さんに詩人になってもらいます」
- ・大崎さんの詩の朗読
- ・宿題「通学路 OR 学校のなかで、1箇所自分の陣地にできるとしたら、どこにしますか？なぜですか？」（妄想してくること。書いてこなくてよい）

**【第2回】 11月27日（火）**

- ・学校のなか&学校周辺を散策。大人と一緒にグループで、陣地の教えてくれる人を募り、案内してもらおう。
- ・前回の宿題の答えを書く。

**【第3回】 12月4日（火）**

- ・宿題を大崎さんからのお返事付きで返却。
- ・詩を書く。「10年後、その場所がどうなっているのが理想ですか?」「陣地で過ごす理想の一日」

**【第4回】 12/11(火)**

- ・前回書いた詩を元に、詩碑を作る
- ・大きな地図に、自分の陣地を書き入れる。学校内のどの場所に作品を置くか考える

**【第5回】 12月19日（水）**

- ・詩碑を校内の好きな場所に置きに行く。
- ・グループで鑑賞する。
- ・大崎さんからのお手紙をプレゼント

## 子どもたちから出てきた未来へのことば（作品より）

### 【自然】

- ・私の心の中には、小さな「夢」がある。わたしは、あの桜の並木の回りが10年、いやずっとさきのみらいものこっていてほしい
- ・10年たったら春、自分が好きな場所は、春のこうよう味はえるようなところになり
- ・自然の中にある 自分のお気に入り ベットにねっころがって見えるのは緑 木にはさまれているベンチは緑色 10年後 20年後もかわらず同じ場所にあり続ける
- ・私の大好きな場所で10年後、自然とともに季節はまわる。自然と暮らす365日間
- ・いつものお気に入りの場所のベンチに座りながらこの場所の10年後のことをぼんやりと想像してみる。 —10年後— もうその周りは高層ビルやマンションなどでいっぱい。緑の低木1つ入るスペースさえもなくなっているかもしれない。…このめまぐるしい社会の中そういう心の落ち着く場所を提供してくれる いやしの場になる そんな場所になってほしいな。

### 【かわらない小金井のまちの風景】

- ・十年後も変わらない日進堂。あの場所にあのしずかで優しい店主
- ・ここには何もない。殺風景だと周りの人は言う。でも僕は何もないということは、今から何でもつくれることだと思う。～そんな場所のままでいてほしい
- ・そうだな、ぼくなら10年後もここがのこってほしい
- ・10年後文具店。どうなっているのか、まだ誰にもわからない。
- ・私のおおばあちゃんはずごい。家の前の道路は小さい頃に、自転車の練習をした思い出の場所だ。…おおばあちゃんには、10年も20年も生きていてほしいし、これからも未来の子のため、に通学路になっていてほしい。のこっていてほしい。
- ・朝学校に行く時に毎日通る交差点。～さてこの場所の未来はどうなっている？あくまで私の理想像だが、今よりも一人一人の色があふれ今よりも人が歩いていてほしい。
- ・銭湯、「ぬくい湯」。人は、がんばることも大事だと思うけれど、休みたいときは休み、だからと言って、休みすぎずほどほど休むことが大切だと思う。
- ・「エントランス」それは、学校がえり ほっとできる場所……10年後、今まで通り、ガラス張りの窓で白いかべが残っていてほしい。
- ・「十年後」桜がよく咲き、月がきれいに満ち、とても快適な世の中になることをぼくは予想する。緑がとても豊かできれいな青空があり、子どもの声が鳴り響く世の中になってほしい。

- ・私の陣地は私の家の庭。そんなに広くはない。猫が来ることもある。10年後はきれいで川も流れているといい。猫が今より増えているととても良い。
- ・私はこの場所を大切にしたい。10年後この場所は残っているのだろうか。残っているといいな。
- ・…10年後には、道は花でいっぱいになる。道には、色とりどりに、花が咲く。その道の前は、車がいきかい、人々もいきかう。

### **【学芸大学】**

- ・10年後学芸大の池には、生き物がいるようになる。
- ・「10年後の学芸大学」広場に新しい遊具やお店やベンチができて池の水がきれいになって水が使えるようになって道が整備されて道のはじめに木や花がうえられていて

### **【公園】**

- ・10年後のひょうたん公園。こどもがじゆうに遊び、風景を見れるようなそんな所になっているといい。
- ・ぼくが望む仙川の未来。それは仙川をうめて、公園にすることだ。公園でぼくは、ひなたぼっこをする。住民が案を出し合い、公園をつくっていく。
- ・公園を安全にする。子どもたちが安心して遊べるように。土屋砂を芝生に変える

### **【学校】**

- ・ぼくは、工作が好きだ。だから陣地は図工室にしたい。
- ・いつまでたっても変わらない。10年たってま20年たってもいっしょ。いつまでも広い体育館。
- ・つかれたときの秘密の場所。…少し狭いけど安心感のある先生の机の下。10年後はどうなっているのだろう……これからも友達との話の場であり、心を休めることのできる空間であってほしい。
- ・10年後の体育館こわされてなくなっているかもしれない。ふるくなり、さびてくるかもしれない。しかしぼくはこのままの体育館が一番いい。
- ・なんねんたってもかわらない教室 なんねんたってもかわらない日常。…まったく同じ一日はもうないかもしれないけれど、みんなの日常と教室はかわらない
- ・この学校の屋上は十年後、誰でも入れる屋上庭園になる。…屋上には一面にたくさんの花や木が植えられさみしかった地面もふかふかのしばふやきれいな道になる

# 前原小学校「未来のタネ図鑑をつくろう」

3年1組2組3組 図工専科 堀愛先生

## 【コンセプト】

前原小学校3年生の皆さんと一緒に、自然素材を使った造形活動を通して、「未来」を想像してみるという事を試みました。3年生の子どもたちが未来を身近に考えるために、普段彼らが遊んでいる野川に、未来に花開く「タネ」を植えてみようというテーマにしました。最初に野川と三角公園に出て「未来のタネ」のイメージを膨らませ、造形をしました。大人のサポートスタッフと一緒に活動することで、普段なかなか使わない自然素材を使った、豊かな作品ができました。できた作品を持って、外に出て、野川や三角公園の好きな場所に置き、その様子を写真で記録し、ワークシートを描き、未来のタネ図鑑ができあがりしました。

## 【授業内容】

第1回 1月15日(火)

- ・「未来のタネ」ってなんだろう
- ・野川・三角公園に出てイメージを膨らませる
- ・体育館に戻りアイデアスケッチを描く

第2回 1月18日(金) 1月22日(火)

- ・「未来のタネ」をつくろう

第3回 2月5日 2月12日

- ・「未来のタネ」を野川・三角公園に置いてみよう
- ・置いた様子を写真に撮ってもらおう

第4回 2月15日 19日

- ・写真を見て、振り返りながら、「未来のタネ図鑑」を描いてみる



## 子どもたちから出てきた未来へのことば（未来のタネ図鑑より）

### 【自然と多様性】

- ・あそべる木があったらぼくたちみたいな小学生がよろこぶぞと思った
- ・そこらじゅうにあそべる木があったら少しにぎわうと思う
- ・どうぶつと人間がなかよくできるといいなとかんじた。
- ・しぜんをだいじにしていきたいとおもいました。
- ・いろんな生き物やしょくぶつがあると楽しいと思います。
- ・花にまみれている小金井、学校、野川になっていたらうれしい。
- ・未来の小金井は、みどりがふえるといいと思います。

### 【野川】

- ・野川のしぜんが本当に！！よいかんきょうになればなあ…と思いました
- ・みんなのよこぶようなかんきょうのよい生活やせいたいけいをおさえるいいの川になるとよいな…

未来の野川はいろんないきものがいると楽しい。

- ・野川の水がきれいになったらみんなが遊べるからきれいになってほしい
- ・この写真の川がもっときれいになってほしいなと思いました。
- ・小金井がカラフルになって、きれいで野川もきれいな水になって、学校はそのまんまだけど、ゆうぐはカラフルできれい
- ・野川のはじめに、いっぱい未来のたねがおかれていたりしていたらたのしいとおもいます。
- ・未来ののがわがふしぎできれいな植物にかこまれていたらいいなと思いました
- ・未来の野川は生き物がおおくてへいわなばしょがいい。
- ・未来の野川はどうぶつたちがあんぜんにくらせるようないいところになったらみんながたのしくなると思います。
- ・いきもの（モンスター）がいたらいまの野川よりたのしくなると思いました。
- ・野川の川がきれいになるといいと思います。
- ・野川のとなりに、りっぱな大きいツリーハウスがあるといいと思います。
- ・みらいの野川は、いろいろなしょくぶつがあったらたのしいと思った
- ・みらいののがわにさめがいたらいい
- ・野川はいろんなどころに湧水があるのがしぜんだし未来らしいと思います。

### **【学校】**

- ・未来の学校は動物がいっぱいたらいいと思いました
- ・未来の学校は、たっくさんの人たちがいると楽しい。
- ・みんなが仲良くできる学校になりたい・
- ・未来の学校には、一回のると落ちるまでおりれないブランコがあるといいと思います！
- ・未来の学校はたくさん未来のタネがあったらいいと思います。
- ・野川や学校におもしろいふしぎな木があったらたのしいと思います。
- ・未来の学校は、しぜんな海になってほしいです
- ・未来の学校はしばふがあるところがいいと思います。
- ・未来の学校はぜんめんしばふ

### **【持続可能性のある社会】**

- ・昔の物をのこしつつ、新しいものもふえていくといいとおもう

### **【安心安全なまち】**

- ・のんびりくらしたいと思った
- ・どろぼうがすくなくなる。

### **【公園や遊び場所について】**

- ・いろいろなあそびどうぐがある
- ・未来の公園はいろいろなゆうぐがある。
- ・未来の公園は、自ぜんの力でできたゆうぐになると、いいと思います。

### **【そのほか】**

- ・ふしぎなものがいっぱいあったらたのしそう。
- ・城があったらいいと思う
- ・未来は小金井と北海道がつながる

## 未来のタネ展「いま、ここから未来を描いてみる」

小金井市芸術文化振興計画推進事業（小金井アートフル・アクション！）平成 30 年度成果展「未来のタネ展」を開催しました。小金井市芸術文化振興計画推進事業は「誰もが芸術文化を楽しめるまち～芸術文化の振興で人とまちを豊かに」という理念の実現を目指し、芸術文化の力で豊かな暮らしを育む活動を行っています。本年度は小金井市長期総合計画の策定作業と連携し、緑小、本町小、前原小の児童の皆さんと一緒に、造形活動を通して「未来」に想像をふくらませました。本展は、活動での作品を中心に、彼らが「いま」この瞬間、感じている事を伝える事を試みました。

子どもたちの作品には、「大好きなもの」や、「ずっと残ってほしい大切な場所」など、小金井で日々生きている実感や温もりがこもっています。子どもたちの表現が織りなす、ささやかな、けれどおおきな「未来のタネ」は宮地楽器ホールに、不思議な風景を立ち上げました。展示の期間中、展示を見に来た市民の方に、どんな街になったら楽しいだろう？という問いかけを行い、思いついたイメージをメモに書いて貼ってもらうパネルも展示しました。

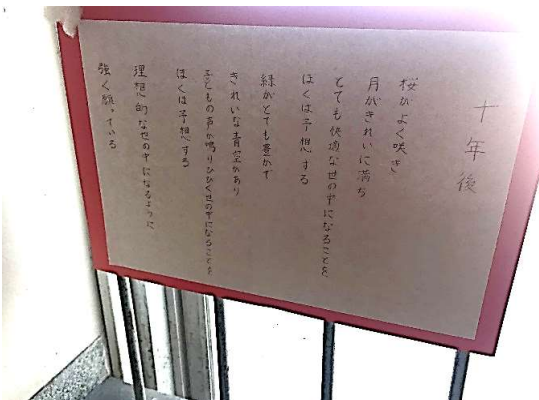
主催：東京都／小金井市／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO 法人アートフル・アクション

来場者数：543 名

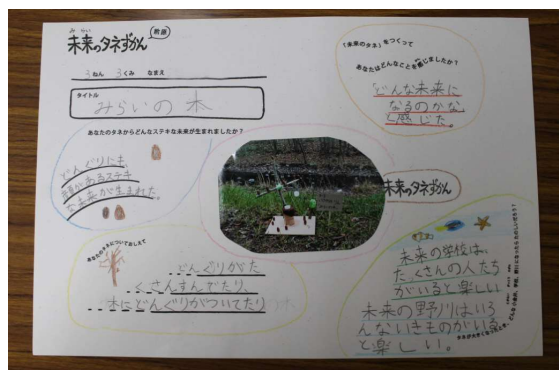
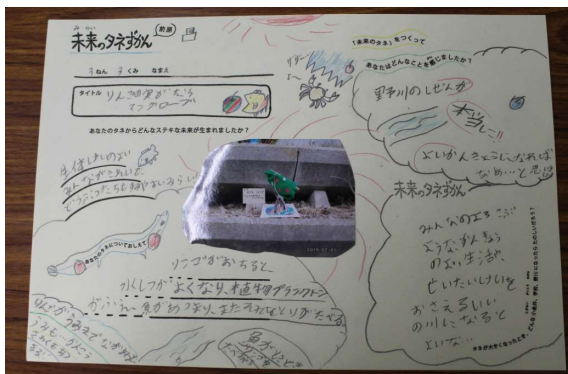
○ 緑小学校「からだところを感じよう！」



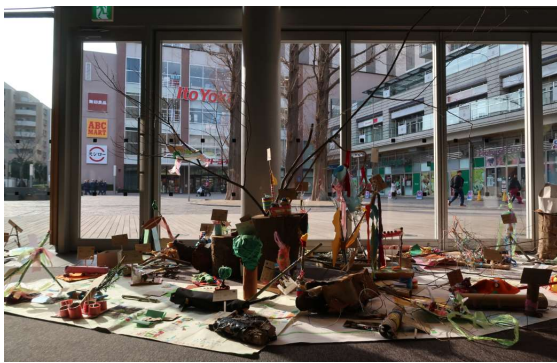
○ 本町小学校「詩人になってみよう」



○ 前原小学校「未来のタネ図鑑をつくろう」



○ 未来のタネ展・・・成果展示



# こが☆カフェ報告書

主催：小金井市

協力：国立大学法人東京農工大学公認サークル まちけん





# 目次

## 1 こが☆カフェとは…

(説明、開催日時、開催場所、参加人数等)

## 2 Menu (当日のスケジュール)

## 3 アイスフレイク

## 4 ワールドカフェ (説明、ラウンド1~3)

## 5 ふりかえり

## 6 アンケート結果



# 1 こが☆カフェとは…

第5次基本構想・前期基本計画を策定するに当たり、市民の皆さんの「こがねい×未来」に関する意見・アイデアを聴くために開催した「ワールドカフェ形式」のワークショップです。





● **開催日時** 2018年12月8日(土)

**13:00~16:00**

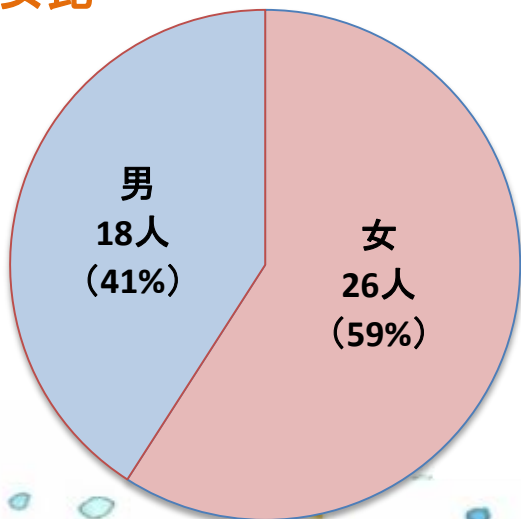
● **開催場所** 市民会館 萌え木ホール



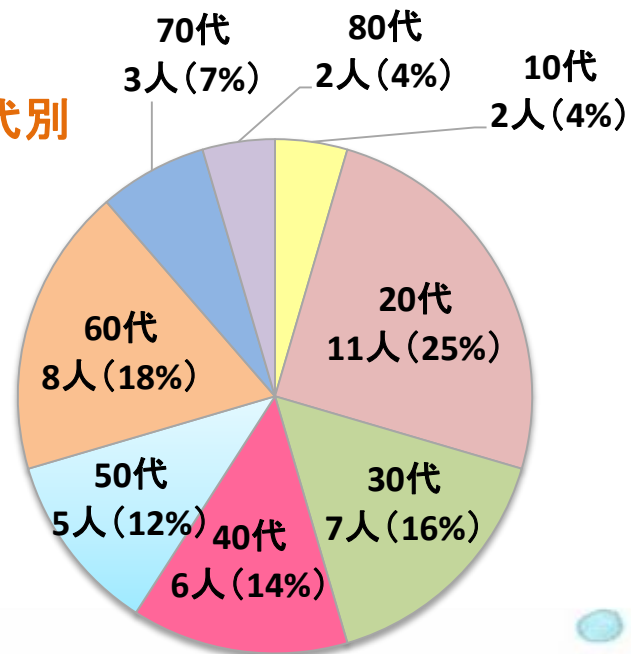
# 参加人数 44人、傍聴人数 5人

(一般29人、市役所職員8人、東京農工大学公認サークルまちけん7人)

## 男女比



## 年代別



## 2 Menu (当日のスケジュール)

13:00

開会

説明&挨拶

小金井市の紹介

スタッフ紹介

グランドルールの共有

アイスブレイク

✧ワールドカフェ✧

ふりかえり

集合写真

16:00

閉会



© Studio Ghibli



# 3 アイスブレイク

場の雰囲気を和ませる時間





# 3 アイスフレイク



「4コマ自己紹介」  
(1人1分。4つのお題について自己紹介)



①呼ばれたい 名前	②あなたと小金井 の関係
③小金井の 好きな場所	④サンタに何か もらうなら

● たとえば・・・

たじごん☺	大学の キャンパス
買井南分館	ワイヤレスの イヤホン♪



まるで参加者全  
員と話している  
ような共有感！

# 4 ワールドカフェ

カフェで話しているように、気軽に自由に対話し、  
話し合いを発展させていくワークショップ

おもしろいア  
イデアが出て  
くる！



こが☆カフェ

# ワールドカフェの説明

第1ラウンド



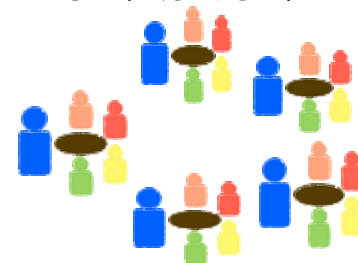
第2ラウンド



第3ラウンド



ふりかえり



- 1テーブル5～6名で、1つの問いについて対話する
- ラウンド毎にテーブルファシリテーターだけを残して、別のテーブルに移動する。
- 対話中に感じたことや気づいたことを文字や絵で自由に表現する



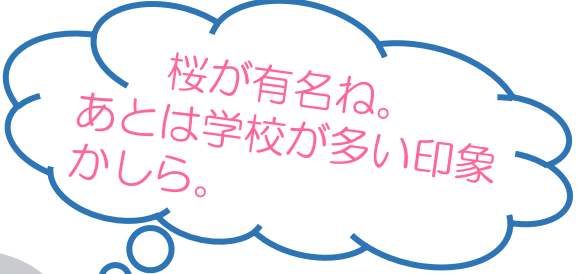
# ラウンド1

「こがねい」ってどんな場所？






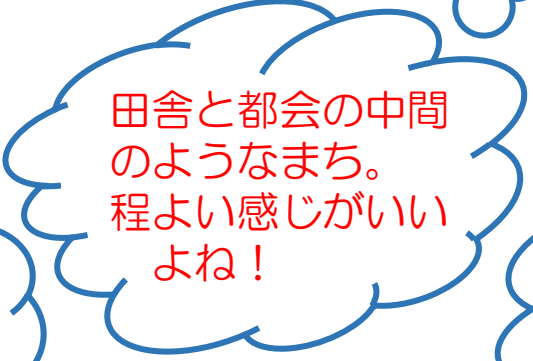
# ラウンド1 「こがねい」ってどんな場所？




桜が有名ね。  
あとは学校が多い印象  
かしら。



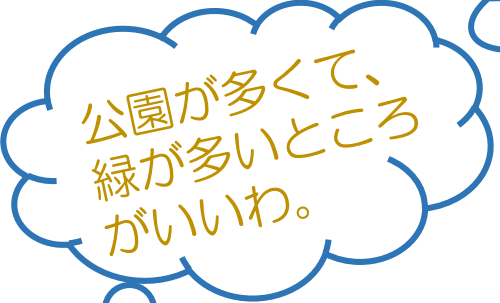
穏やかな人が多い感じ。  
でも市民活動が活発で、  
やる気がある人も多いわね。



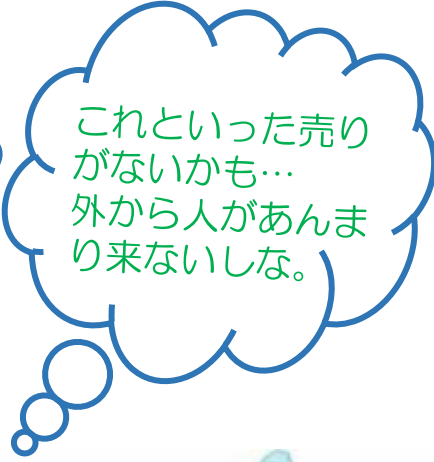
田舎と都会の中間  
のようなまち。  
程よい感じがいい  
よね！



都心への  
アクセスが  
いい！



公園が多くて、  
緑が多いところ  
がいいわ。



これといった売り  
がないかも…  
外から人があんまり  
来ないしな。



# ラウンド1 「こがねい」ってどんな場所？

## ☆ その他の意見

- 新しい住民に開けている
- 地域の伝統行事や餅つき、お祭りなども多い
- 個人商店やおしゃれなカフェがある。高架下もオシャレ！
- 最近空き家が増えてきている
- 開発、自然、人口、立地・・・全て程よい感じ
- 坂下と坂上で格差がある
- 大学などが多いから若い人も多い気がする
- 歴史深い場所。玉川上水や栗林など、身近に昔を感じられる
- 野菜の無料販売所が多い！
- クリエイティブな人が多い印象                      など・・・



© Studio Ghibli



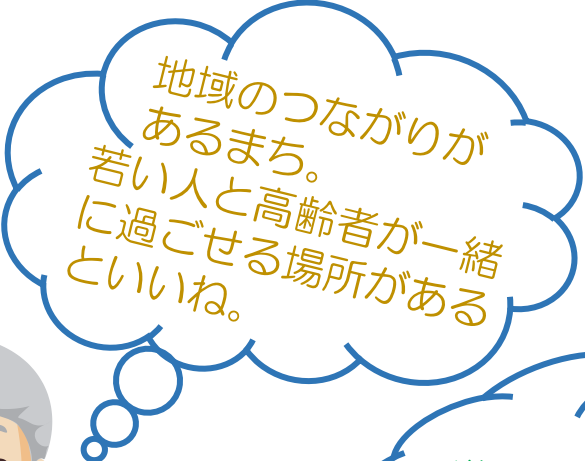
# ラウンド2

今よりも暮らしやすい「こがねい」って  
どんなまち？

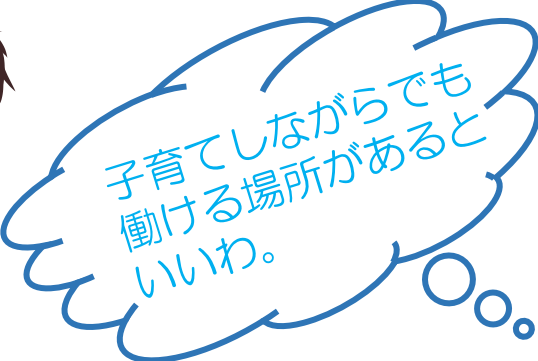


## ラウンド2


# 今よりも暮らしやすい「こがねい」ってどんなまち？



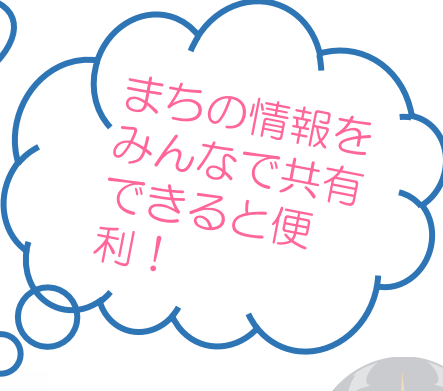
地域のつながりがあるまち。  
若い人と高齢者が一緒に過ごせる場所があるといいね。



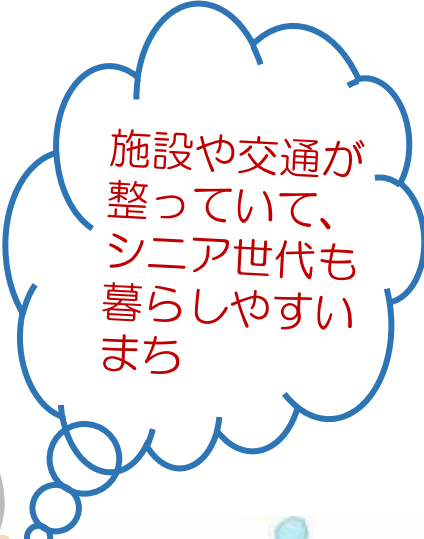
子育てしながらでも働ける場所があるといいわ。




遊べる公園や緑が多いまち♪



まちの情報をみんなで共有できると便利！



施設や交通が整っていて、シニア世代も暮らしやすいまち



もっとお店が増えると楽しいね。



## ラウンド2

# 今よりも暮らしやすい「こがねい」ってどんなまち？

### ☆ その他の意見

- 地元の商店・個人経営の店が残るまち
  - 開発と自然が共存しているまち
  - 大学生が地域の人と活動できるまち
  - 何か象徴する名所があるまち
  - アニメをいかしたまち
  - 自治会や子ども会など、人との関わりが活発なまち
  - みんながゆっくりと過ごせる「場」があるまち
  - 南と北、市民とNPO、地域と大学など多様なつながりが生まれるまち
  - 空き家が少ないまち
- など・・・



© Studio Ghibli



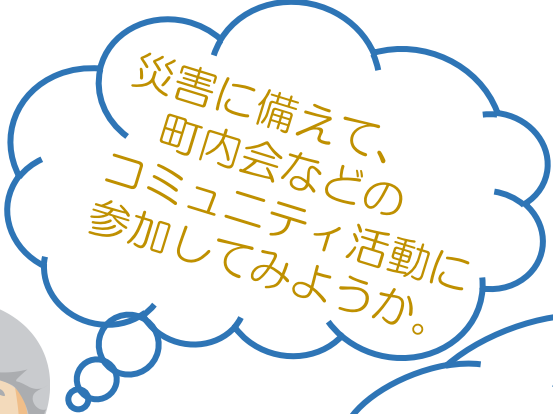
# ラウンド3

「こがねい」をもっと暮らしやすいまちにするために何ができますか？



# ラウンド3


「こがねい」をもっと暮らしやすいまちにするために何ができますか？



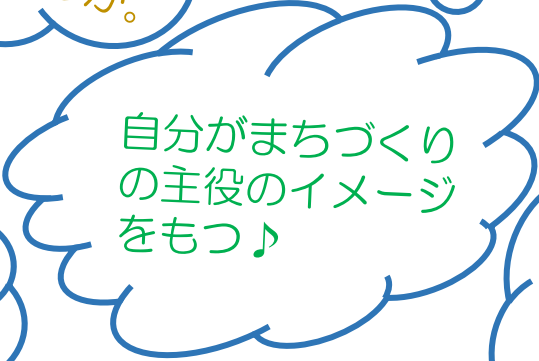
災害に備えて、  
町内会などの  
コミュニティ活動に  
参加してみようか。



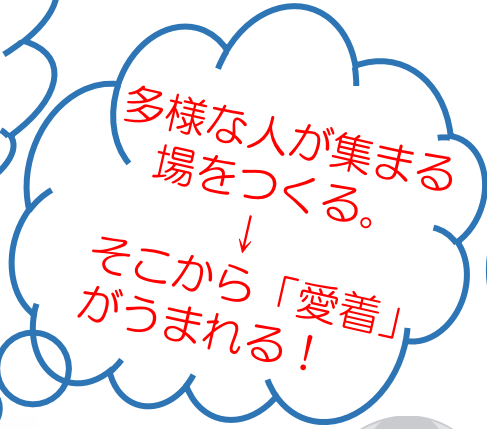
たまには地元のお店  
で買い物してみよう  
かしら。



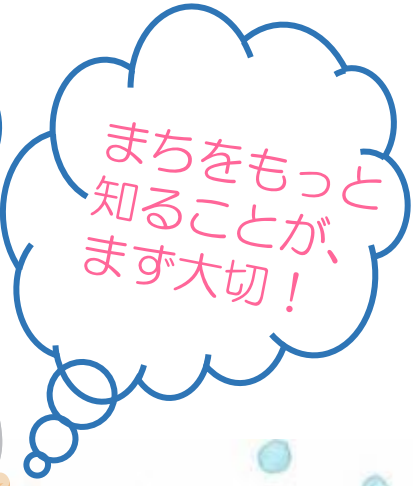
今ある自然を  
大切にしてい  
きたいな。



自分がまちづくり  
の主役のイメージ  
をもつ♪



多様な人が集まる  
場をつくる。  
↓  
そこから「愛着」  
が生まれる！



まちをもっと  
知ることが、  
まず大切！



## ラウンド3

「こがねい」をもっと暮らしやすいまちにするために何ができますか？

### ☆ その他の意見

- まちの情報の発信に工夫して、受ける側もアンテナをはる。
- 大学生にもメリットとなるように、まちづくりに関わってもらおう。
- 空き家を活用して、オープンスペースやカフェをつくる。
- きっかけを作る人、仲介者を育てる。
- 子育てや教育面にお金を使う。
- 地元企業の発掘や企業誘致に力を入れ、小金井の良さを保つための財源を確保する。
- みんなが協力して、市民協働を活発に行う。
- それぞれができることをやる！

など・・・



© Studio Ghibli

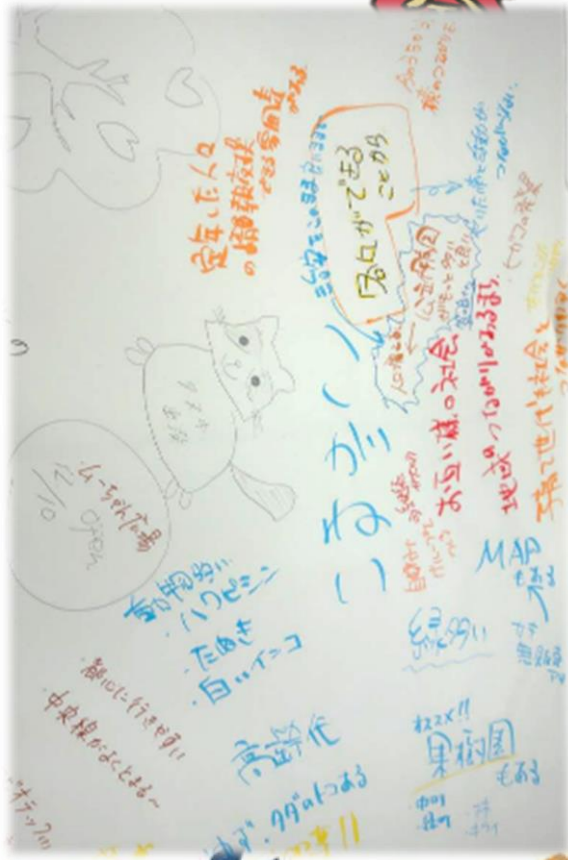




# ワールドカフェ

～みんなで書いた模造紙～

© Studio Ghbli



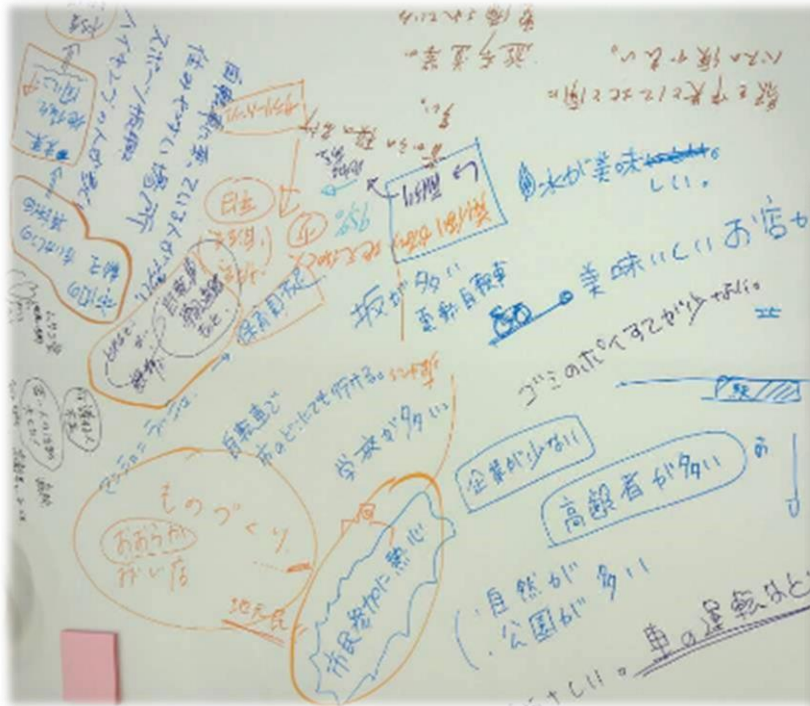
# ワールドカフェ

～みんなで書いた模造紙～



# ワールドカフェ

～みんなで書いた模造紙～



# 5 ふりかえり

- ①「こがねい」を暮らしやすいまちにするためにあなたができること
- ②こが☆カフェに参加した感想



## ふりかえり

### ①「こがねい」を暮らしやすいまちにするためにあなたができること

- 今日のことを誰かに話す。伝える。
- 私から、あいさつ運動をする！
- 市内農家の直売所で野菜を買ってみる。
- きっかけを作る人、仲介者を育てる。
- 小金井市の良いところをPR（まず友人・知人）
- まずは小金井を知る！
- コミュニティに積極的に参加していくこと。
- 老若男女を問わず、自然と集まっていく場をつくる努力
- 地域の子どもを知ってる大人づくり
- 仕事で得た知識や経験を市の生活の場でも活用できると良い。
- ボランティアイベントに参加します。
- ごみ拾いを一緒にやってくれる人を募る
- 自然を大切にすること
- 楽しんでくらすことを実践する
- 納税
- 審議会等の傍聴
- まちのルールを守る
- 現在のNPO活動の継続



# ふりかえり

## ①「こがねい」を暮らしやすいまちにするためにあなたができること

- 私に出来ることは、子ども達への声かけ、危険な行動を見たら知らない子でも注意する。
- こがねいで行われている活動にアンテナを張る！
- まずはぶらぶら歩いて好きな店（カフェでもごはん屋さんでも）探し
- 子育てしやすい町を目指す。                      • 子どもが自立する空間づくり
- このような意見交換の場に積極的に参加し自分の町の問題として考えると共に改善の提案をすること。
- 次回は友達もたくさん呼ぶ                      • 空き家を何かしら使う！
- “工夫”を大切に考える。                      • 地域の人になる
- 学生の強みを活かせる場                      • 市に意見を出す。
- 地元の人がやってるお店でお買い物をするようにする
- 時間を作って交流の場に参加し、皆をよく知ること                      など・・・



## ② こが☆カフェに参加した感想

- 小金井に対する熱い想いを持っている人がたくさん！
- 世代をこえた話合いの場は楽しい
- あたたかい雰囲気でした！
- いつもとちがう人とのおしゃべりはすごく刺激的
- 盛り上がった！白熱した！
- 話しが少し広がりすぎてしまったかも？
- 小金井の“ほど良い”に魅かれる
- みんなすばらしい方が多かった！
- このようなお話し合いの場があることに驚きでした。もっと市報やネットなどを注意して見るようにしたいと思います。
- 楽しかったので、こういうイベントがあったらまた参加したいです♪
- 地域の活性化のアイデア、イメージがつかめた。
- さかえるほどよい！というわけではない。



## ② こが☆カフェに参加した感想

- ふつうに暮らしていると出会えない方々とお話できたことがとても楽しかった。
- 市がこのような場を牽引している事におどろいた。
- 次はもっと具体的なアイデアを出す会もやりたい
- まちづくりに外国の人の視点も必要と気がついた
- 「言いたいことが言える」こんな素敵な場に参加できて良かったです。
- 緑の多い此の町を大切に使って欲しい
- 転入してきたばかりなので地元の問題意識を知ろうと思って参加した。様々な意見を  
知ることができ良かった。30年以上小金井に暮らして市に愛を感じている人が多く  
て驚いた。
- 自分の知っている小金井の他に、他に人が感じている小金井の魅力、課題などを知る  
ことができて良かった。

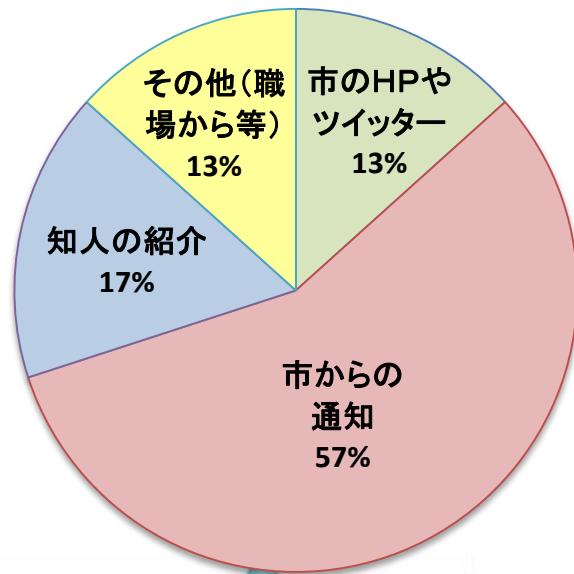
など・・・



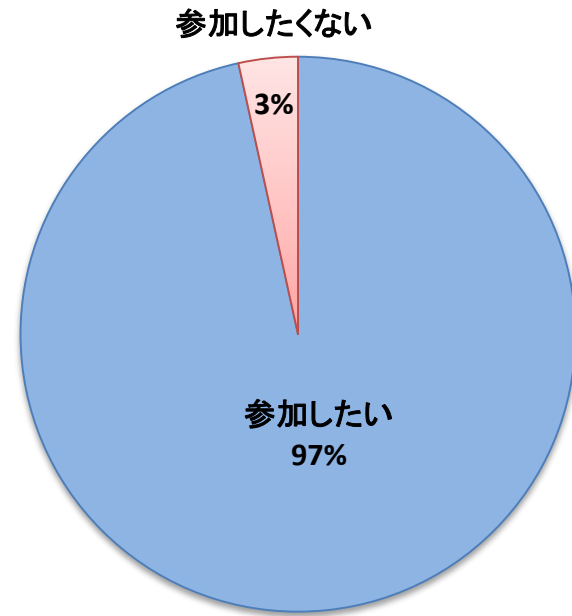


# 6 アンケート結果

「こが☆カフェ」は  
どこで知りましたか

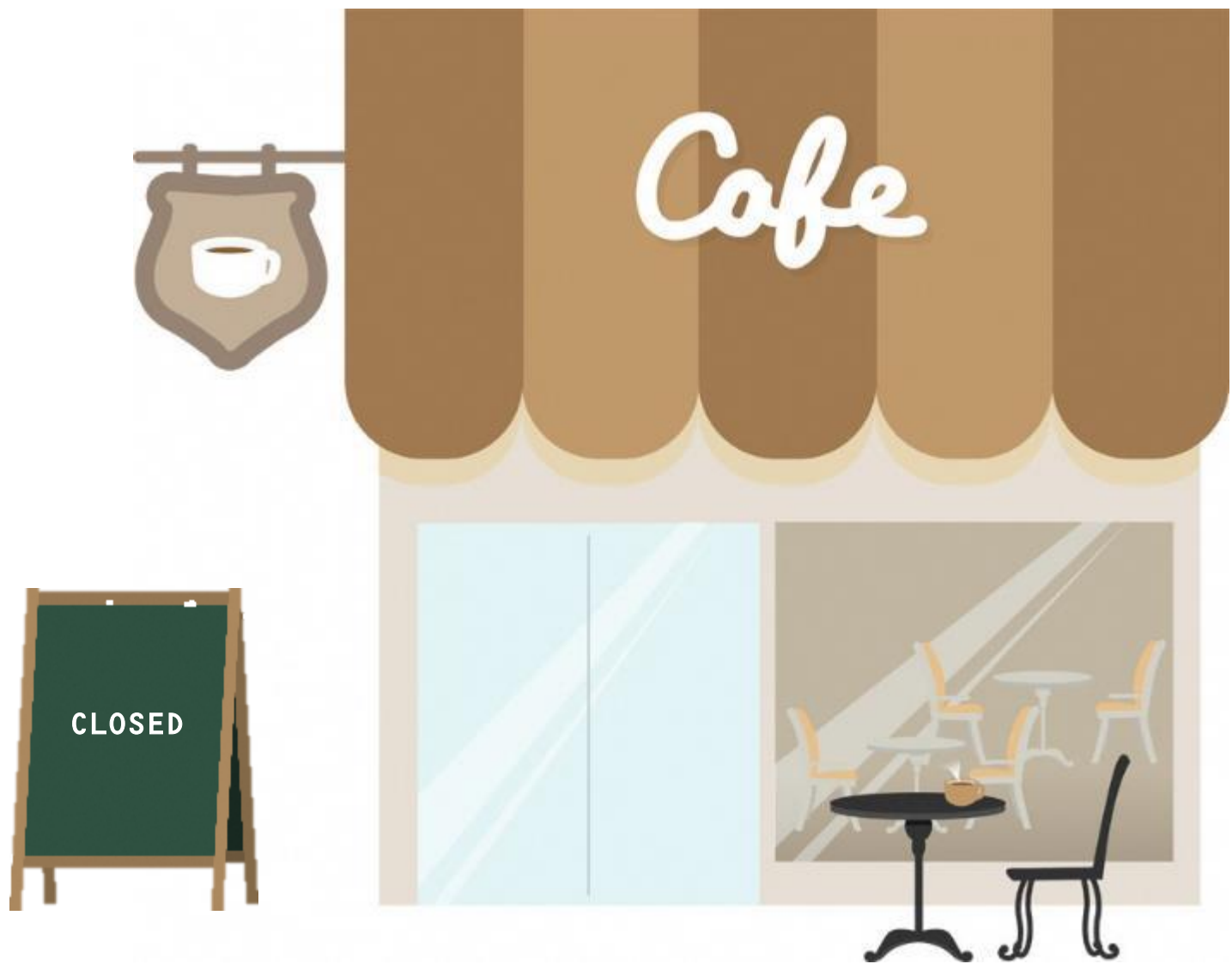


今後このような機会があったら  
参加したいと思いますか



© Studio Ghibli





☆ 参加・協力していただいた皆さま、ありがとうございました。

## 子ども懇談会 報告書

1 開催日時 令和元年5月22日(水) 午後4時から午後5時

2 開催場所 本庁舎3階 第1会議室

3 参加者数及び傍聴者数

(1) 参加者

中学生 19人(第一中学校3名、他4校4名)

市 市長、副市長、教育長、企画財政部長、学校教育部長、指導室長

事務局 企画政策課長、同係長、同主査、同主任、同主事

(2) 傍聴者 8人

(3) その他 各校引率教諭

4 各中学校から発表された将来像案

学校名	将来像案
小金井第一中学校	小金井の桜 東京の湧水 日本のとき
	自然を守ろう 笑顔育てよう 夢をはぐくむ町 小金井
	多種多様な人がつながるまち
小金井第二中学校	育つ子どもは桜とともに未来へ羽ばたく小金井市
	桜が子どもに笑うまち
	桜が子どもと育つまち
東中学校	多いぞ緑 増えるぞ笑顔 創ろう絆 小金井市
	強い地域の絆・豊かな自然・満開の笑顔咲く 小金井市
	豊かな自然、あたたかな人、笑顔あふれる 小金井市
緑中学校	ゆりかごから墓場まで
南中学校	桜が映える、緑豊かな 笑顔あふれる小金井
	桜咲く 笑顔咲く 小金井市

5 小金井市の良いところ(概要)

### 【環境関連】

- ・自然が多い / ・緑が多く桜がきれい
- ・自然を大事にする精神がある。 / ・川辺の環境や公園
- ・生活環境としては便利なのに自然豊かなまち。住むにも子育てにもよい。
- ・緑が豊かだと思ふ。公園がいくつもあるので、子どもの成長環境としてよい。
- ・四季折々で桜がきれい。

### 【地域・経済関連】

- ・住民同士の交流があり、暖かい町。
- ・あたたかい人がいる。人の関わりが良い。
- ・治安が良く、人がやさしい。
- ・地域の人が優しく、年齢にかかわらず安心して暮らすことができる。
- ・住む人や働く人が仲がよい。
- ・近所だけでなく、学校の先生や商店街の人でも地域の人がやさしい。
- ・地域ならではのコミュニティが良い。

- ・住みやすい。公園、ショッピングモール、飲食店が多くて、毎日楽しい。
- ・ボランティア活動に積極的。

#### **【子ども・教育】**

- ・学校の評判が良い。
- ・子どもと市との交流の場が多い。
- ・子どもでもいっしょによい小金井にしていこうという雰囲気がある。

#### **【その他】**

- ・スタジオジブリがある。キャラクターもかわいい。
- ・食べ物がいい。ラーメン屋が多い。それに限らず食べ物が素晴らしい。
- ・阿波踊りが良い。

子ども懇談会 各校事前提出資料まとめ

学校名	小金井第一中学校	小金井第二中学校	東中学校	緑中学校	南中学校
将来像案 と理由①	<p><b>小金井の桜 東京の湧水 日本のとき</b></p> <p>小金井といえば、桜、湧水、標準時刻の3つではないでしょうか？その中でも、桜は小金井の誇り、湧水は「東京の湧水57選」にも選ばれ、とき・標準時刻は、日本のときが決まるとして知られています。この3つは小金井の誇りです。</p>	<p><b>育つ子どもは桜とともに未来へ羽ばたく小金井市</b></p> <p>武蔵小金井駅の周りは、どんどん発展していき、街の様子も大きく変わるでしょう。しかし、桜に代表されるこの街の美しい自然の風景が残る続け、この豊かな自然の中で育つ恵まれた子どもたちが、これからもたくさん生まれることを願い、キャッチフレーズを考えました。</p>	<p><b>多いぞ緑 増えるぞ笑顔 創ろう絆 小金井市</b></p> <p>小金井市は、緑がとても多く、子供からお年寄りまで、とても健康的に生活できます。これからの小金井市は、さらに笑顔が増え、絆が強くなることを願っています。</p>	<p><b>ゆりかごから墓場まで</b></p> <p>お年寄りから、赤ちゃんまで、誰もが一生暮らしていける町にしたい。進学や就職を機に一度市を離れても、”帰ってきたくなる町”にしたいです。</p>	<p><b>桜が映える、緑豊かな 笑顔あふれる小金井</b></p> <p>・「桜が映える」というフレーズが素敵だと思った。 ・最近、小金井もどんだん家などが建設されていていっているが、そんな中でも緑を大切にしていきたいながら、もっと笑顔があふれる市になってほしい。</p>
	<p><b>自然を守ろう 笑顔を育てよう 夢をはぐくむ町 小金井</b></p> <p>町の近代化や便利性を求め自然破壊が進んでいるとよく聞く。その中で、小金井市が先頭を切り、自然を守ることができれば良いなと思った。自然を守ることができ、住みやすい生活をするのができ、人々にも笑顔があふれると思う。他の地域で小金井市を理想とした街づくりをしてもらえるようにしていきたい。</p>	<p><b>桜が子どもに笑うまち</b></p> <p>桜が子どもに笑いかけるように、明るく自然豊かな街にしたいという願いを込めました。</p>	<p><b>強い地域の絆・豊かな自然・満開の笑顔咲く 小金井市</b></p> <p>近年相次いで起こる災害や大事件、身近で起こりうる詐欺など、どんなことにも負けない強い地域の絆を持つ小金井市であってほしい。小金井公園や野川公園などの雄大で豊かな自然や市内の緑がこれからも絶えずにつながってほしい。小金井市の象徴でもある桜のように美しく満開の笑顔がたくさん咲き続けてほしい。以上3つの願いを込めてこのキャッチフレーズにしました。</p>		<p><b>桜咲く 笑顔咲く 小金井市</b></p> <p>・案1よりリズムが良い。 ・桜が咲くように、小金井市民の笑顔も咲いてほしい。</p>
<p><b>多種多様な人がつながるまち</b></p> <p>色々な世代がつながりを持つことはもちろんだが、2020年には東京オリンピックがあり、外国人も来るため、その人たちとのつながりを深めることを意識するため。</p>	<p><b>桜が子どもと育つまち</b></p> <p>桜に代表される自然とともに、たくさんの子どもが育つことを願い、このキャッチフレーズを考えました。</p>	<p><b>豊かな自然、あたたかな人、笑顔あふれる 小金井市</b></p> <p>緑豊かな小金井市の環境が11年後もこのまま続き、あたたかな人々とのつながりを大切にす。また、小金井市民が笑顔でいられるといいなという思いを込めました。</p>			
将来像案 と理由③					

長期計画審議会・起草委員会 全体スケジュール(案)

	6月 上旬 中旬 下旬	7月 上旬 中旬 下旬	8月 上旬 中旬 下旬	9月 上旬 中旬 下旬	10月 上旬 中旬 下旬	11月 上旬 中旬 下旬	12月 上旬 中旬 下旬	1月 上旬 中旬 下旬	2月 上旬 中旬 下旬	3月 上旬 中旬 下旬	4月 上旬 中旬 下旬	5月 上旬 中旬 下旬	6月 上旬 中旬 下旬
審議会	第1回	第2回	第3回 第4回	第5回	第6回	第7回	(仮称) 市民懇談会 第8回	第9回 第10回		第11回	第12回	(仮称) 市民懇談会/ パブリックコ メント 第13回	第14回 答申
審議内容	・諮問 ・会議運営 ・スケジュール	・基本構想の 素案(一部) ・政策の取組 方針	・政策の取組 方針	(予備日)	・基本構想素 案の全体調 整	・市民懇談会 に向けて	・市民懇談会 への出席	・基本構想素 案修正 ・基本計画説 明		・基本計画素 案の全体調 整	・基本計画素 案の全体調 整 ・市民フォー ラム・パブリック コメントに向け て	・市民フォー ラムへの出 席	・パブリックコ メント回答調整 ・答申に向け て
起草委員会				第1回 第2回				第3回 第4回 第5回					
審議内容				・政策の取組 方針				・基本計画素 案検討	・基本計画素 案検討				

## 審議会・起草委員会の役割(案)

会議体	構成	ポイント
審議会	16人	公開
		報告・意見調整・決定を中心とした場
		必要な視点(全体感・客観性・平準化)
起草委員会	3グループ 各5~6人	公開
		意見を交わす・フラットな話しやすい場
		必要な視点(個別・具体性・詳細化)

## 【起草委員会】について

次の3グループに分かれ、各分野について検討する。なお、各委員は、原則いずれかのグループに所属する。(起草委員会も報酬は支払われます。)

## ①「環境・都市基盤」と「地域・経済」

- ▷環境・都市基盤・・・みどり、ごみ処理、市街地整備、インフラ 等
- ▷地域・経済・・・防災、安全・安心、産業、農業 等

## ②「子ども・教育」と「福祉・健康」

- ▷子ども・教育・・・子ども家庭福祉、子育て・子育ち、学校 等
- ▷福祉・健康・・・地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、健康 等

## ③「文化・生涯学習」と「行政経営」

- ▷文化・生涯学習・・・芸術文化、国際交流、男女平等参画、生涯学習 等
- ▷行政経営・・・市民参加、協働、広報、行財政改革 等

## 市報（抜粋）

**ちょうけい  
コーナー**

  
市ホームページ  
QRコード

**【長期計画審議会を開催】**  
詳細は下記「各種審議会等の開催日程」をご覧ください。

**【長期計画審議会公募委員  
選任結果】**  
公募委員選考基準等により、次の方を委員に選任しました。  
▷柳沢昂さん


**【「高校生世代ワークショップーアオハルカイギ」参加者を無作為抽出方式で募集】**  
計画策定にあたり、高校生世代の方を対象にワークショップを開催します。無作為に抽出した方の中から参加者を選出するため、6月中旬から応募用紙を送付します。  
**対**平成13年4月2日～平成16年4月1日生まれで、住民基本台帳から無作為抽出した方1,000人  
**申**案内が届いた方で、参加を希望

する場合は、応募用紙に必要事項を記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください

**【「1839会議」傍聴者募集】**  
計画策定にあたり、18～39歳の市民の皆さんを対象としたワークショップを開催します。傍聴を希望する方はお越しください。  
**時**7月6日（土）午後1時～3時30分  
**所**市民会館・萌え木ホール  
**定**10人（申込順）  
**他**保育・手話通訳あり（要事前申込）  
**申**7月5日正午までに、電話またはファクスで氏名・連絡先を企画政策課へ  
— ◇ 共 通 ◇ —  
**問**企画政策課企画政策係（☎042-387-9800FAX042-387-1224）

令和元年 6 月 1 5 日号

**ちょうけい  
コーナー**

  
市ホームページ  
QRコード

**【長期計画審議会の開催】**  
長期計画審議会は毎月開催しています。これらの市民参加の情報は市ホームページをご覧ください。

**【「高校生世代ワークショップーアオハルカイギ」傍聴者募集】**  
**時**7月17日（水）午後5時～7時30分  
**所**市民会館・萌え木ホール  
**定**10人（申込順）  
**他**手話通訳あり（要事前申込）  
**申**7月16日正午までに、電話またはファクスで氏名・連絡先を企画政策課へ  
— ◇ 共 通 ◇ —  
**問**企画政策課企画政策係（☎042-387-9800FAX042-387-1224）

令和元年 7 月 1 日号